芦屋町コミュニティ活動状況調査 結果報告書

平成30年3月福岡県 芦屋町

目 次

Ι	調査の概要	1
2.	調査の目的 調査の概要 報告書の見方	2
П	調査結果	5
1.	調査対象者について	6
2.	町の暮らしやすさについて	11
3.	町の取り組みに対する満足度・重要度について	17
4.	その他、まちの重点的な取り組みなどについて	28
5.	自由回答	56
6.	資料編	70



1. 調査の目的

芦屋町の住民における、これまでの町の取り組みに対する評価や、今後のまちづくりに対する意向を把握するとともに、平成 26 年度に実施した同様の調査結果との比較・分析を行うことで、課題を抽出し、今後の取り組みに資することを目的に実施しました。

2. 調査の概要

調査地域 : 芦屋町全域

調査対象者 : 芦屋町在住の 20 歳以上 2,000 名を無作為抽出

調査期間 : 平成30年1月~2月調査方法 : 郵送による配布・回収

配布数(A)	回収票数(B)	回収率	(B)
			(A)
2, 000	797		39. 9%

3. 報告書の見方

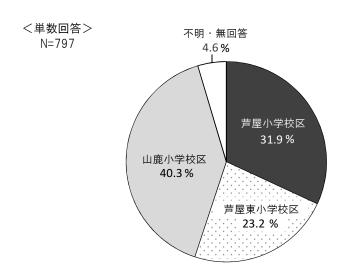
- ●回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下 第2位で四捨五入したものです。このため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を 選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告 書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ●複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢 ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。このため、合計が100.0% を超える場合があります。
- ●図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ●図表中の「N」は、集計対象者総数(あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人) を表しています。
- ●本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
- ●設問によっては、平成 26 年度に実施した同様の調査(「前回調査」と表記)および平成 24 年度に実施した同様の調査(「前々回調査」と表記)との比較を行っています。
- ●その他回答などで、個人等が特定される可能性のある内容については、若干の修正をして 掲載しています。
- ●この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜掲載しています。



1. 調査対象者について

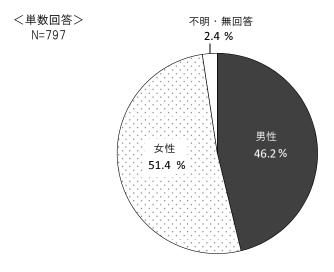
1. 小学校区別構成比(問1)

対象者の小学校区別構成比は、芦屋小学校が 31.9%、芦屋東小学校区が 23.2%、山鹿小学校区が 40.3%となっています。



2. 性別構成比(問2)

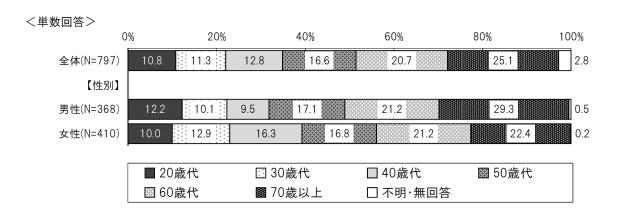
対象者の性別構成比は、男性が46.2%、女性が51.4%と、おおむね2分した構成となっています。



3. 年齡別構成比(問3)

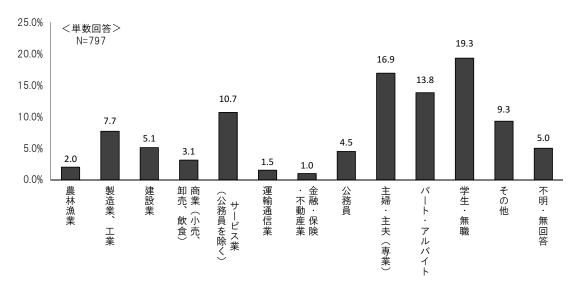
対象者の年齢別構成比は、「70歳以上」が25.1%と最も高く、次いで「60歳代」が20.7%、「50歳代」が16.6%となっています。

性別では、男性は女性に比べ「70歳以上」の割合がやや高く、女性は男性に比べ「40歳代」の割合が高くなっています。

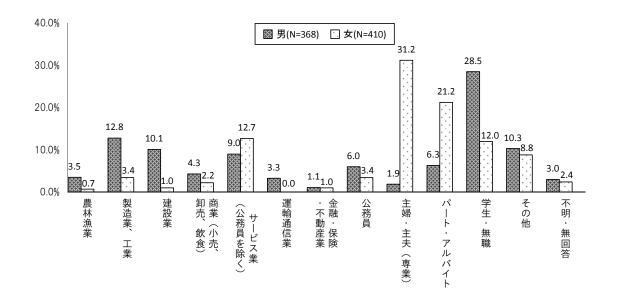


4. 職業別構成比(問4)

対象者の職業別構成比は、「学生・無職」が 19.3%と最も高く、次いで「主婦・主夫(専業)」が 16.9%、「パート・アルバイト」が 13.8%となっています。



性別では、男性は女性に比べ「学生・無職」「製造業、工業」の割合が高く、女性は「主婦・ 主夫(専業)」「パート・アルバイト」の割合が男性を大きく上回っています。



◆「その他」の内訳◆

 ・医療関係
 ・会社役員
 ・情報サービス業

 ・保育士
 ・施設作業所
 ・IT関連

 ・介護職
 ・商社

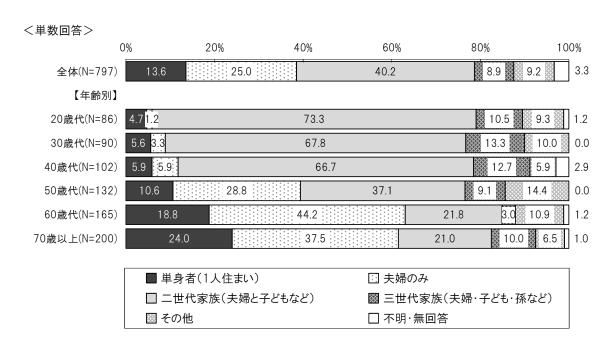
 ・団体職員
 ・車両整備

 ・自営業
 ・水処理関係

5. 同居家族構成(問5)

同居の家族構成をみると、「二世代家族(夫婦と子どもなど)」が40.2%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が25.0%、「単身者(1人住まい)」が13.6%となっています。

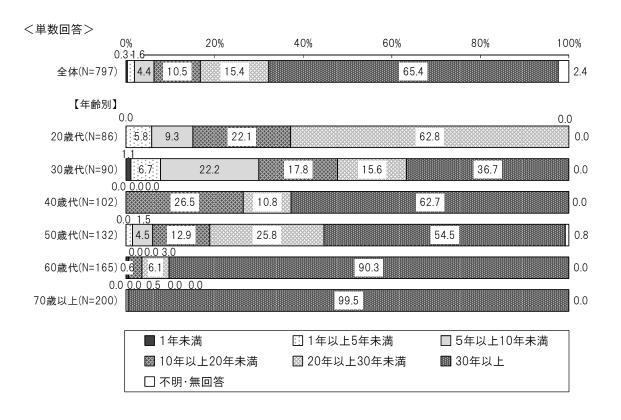
年齢別では、20~40歳代では「二世代家族(夫婦と子どもなど)」がおよそ7割を占めています。また、年代が上がるほど「単身者(1人住まい)」や「夫婦のみ」の割合が高くなる傾向がみられます。



- ·兄弟姉妹
- ・母と二人
- ・孫と二人
- ・夫婦と姉
- ・夫の姉
- ・母と妹

6. 芦屋町での居住年数(問6)

芦屋町での居住年数をみると、「30年以上」が最も高く、およそ7割を占めています。 年齢別にみると、年齢が上がるほど居住年数が高くなる傾向がみられます。



2. 町の暮らしやすさについて

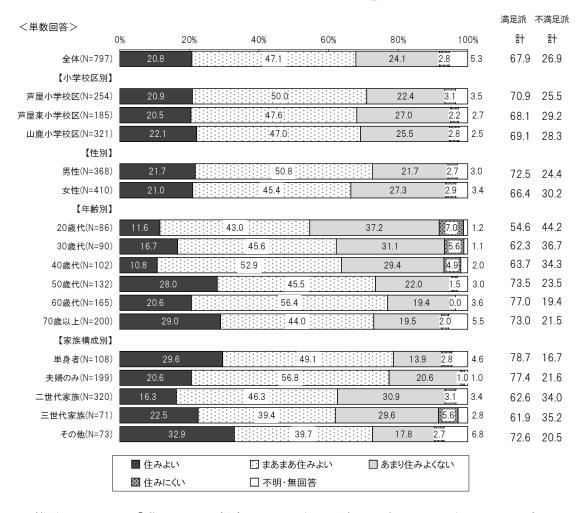
問7 芦屋町は住みよいと感じていますか。(1つに〇)

芦屋町の住みやすさについてみると、「住みよい」と「まあまあ住みよい」を合わせた『住みよい(以下「満足派」と表記)』と回答した人が67.9%とおよそ7割を占めています。

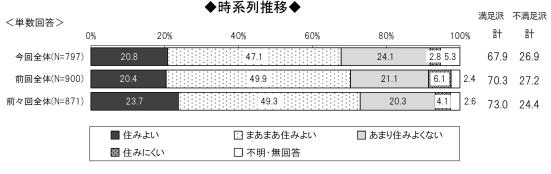
小学校区別では、いずれも『満足派』がおよそ7割を占めています。

性別では、男性は女性に比べ『満足派』の割合が高く、年齢別では、50歳代以上で『満足派』の割合が高くなっています。

また、家族構成別でみると、単身者、夫婦のみで『満足派』の割合が高くなっています。

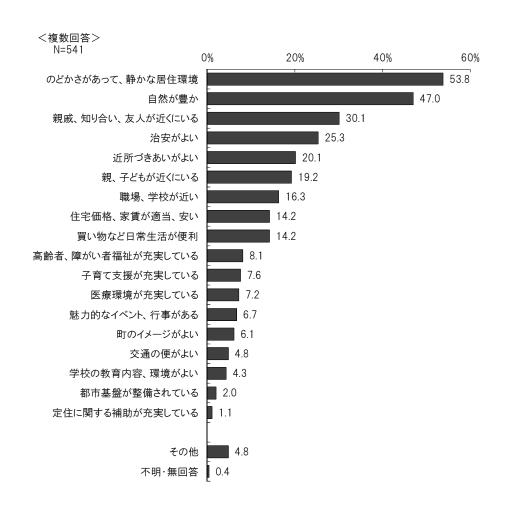


時系列推移でみると、「満足派」の割合が 67.9%と、前回調査の 70.3%から 2.4 ポイント 低くなっています。



問7-1 どのような点で住みよいと感じていますか。(主なもの3つにO)

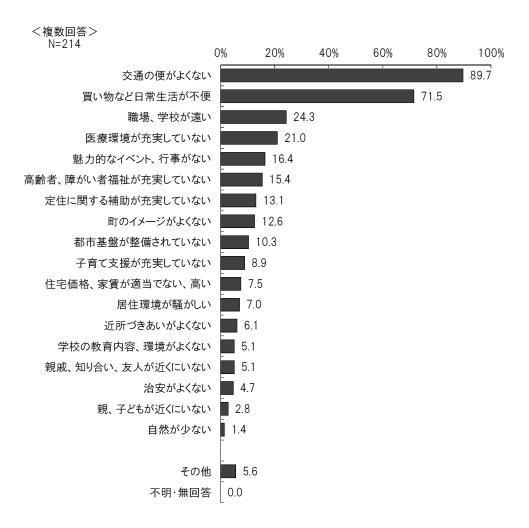
住みよいと感じる理由についてみると、「のどかさがあって、静かな居住環境」が 53.8% と最も高く、次いで「自然が豊か」が 47.0%、「親戚、知り合い、友人が近くにいる」が 30.1% となっています。



- ・生まれ育った町だから
- 災害が少ない
- · ずっと住んでいるから
- ・他所に居住したことがないのでよくわからない
- ・銀行、官公庁が集中している
- ・マリンテラスを週3~4回利用している。犬の散歩に田園地帯がありすごく良い
- ・良い意味で田舎
- ・子どもが学生の頃は住みよいとは感じなかった。 50 代になってようやくまあまあ住み よいと感じた
- ・町立病院が新しくなること
- ・持ち家があるので仕方ない
- ・役場の人が親切だと思う
- ・ 雪が積もりにくいところ
- ・なんとなく
- ・給食が美味しい
- ・北九州市の隣で便利
- 海があるから

問7-2 どのような点で住みにくいと感じていますか。(主なもの3つにO)

住みにくいと感じる理由についてみると、「交通の便がよくない」が 89.7%と最も高く、 次いで「買い物など日常生活が不便」が 71.5%となっています。



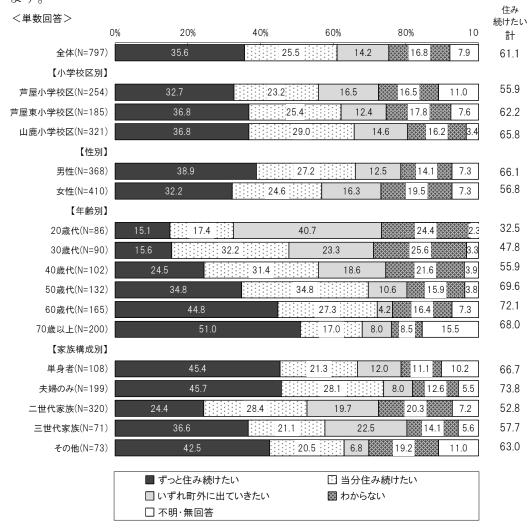
- ・町外の友人と遊べる場所が少ないため、招待したくてもできない
- ・中央病院のサービス、患者への配慮が悪い。税金が高い
- ・散歩コースがない
- ・上水道は早くから完備しているが、ガスがいまだにプロパンなので、外に置いているのが 不安
- ・商品券が出ても使える店、魅力的な店がない
- ・高齢者になっても日常生活には車移動が必要。自身の運転に起因する事故等が心配
- ・住民税が他のところと比べて高い。水道代が高い
- ・持ち家があるので仕方ない
- ・避難所が古く使用しにくいと思う。公園や公共施設をつくってもデザインや内容が悪いと 思う
- ・上下水道料金が高い
- ・飛行機の騒音
- ・福利厚生のある職場が少ない
- 閉鎖的である
- ・自然はあるが、活かし切れていない気がする
- ・働く場所がない。若者が定住しない
- ・災害が発生しない

問8 今後も芦屋町に住み続けたいですか。(1つに〇)

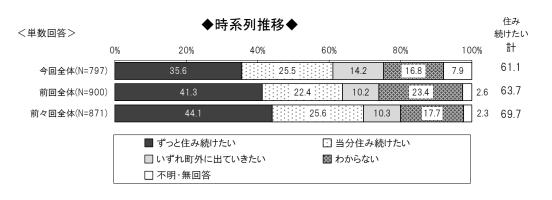
芦屋町の居住意向についてみると、「ずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」を合わせた『住み続けたい』と回答した人が 61.1%とおよそ 6 割を占めています。

性別では、男性が女性に比べ『住み続けたい』の割合が高く、年齢別では年齢が上がるほど『住み続けたい』の割合が高くなる傾向がみられます。

また、家族構成別では、単身者、夫婦のみで『住み続けたい』の割合が他と比較して高くなっています。

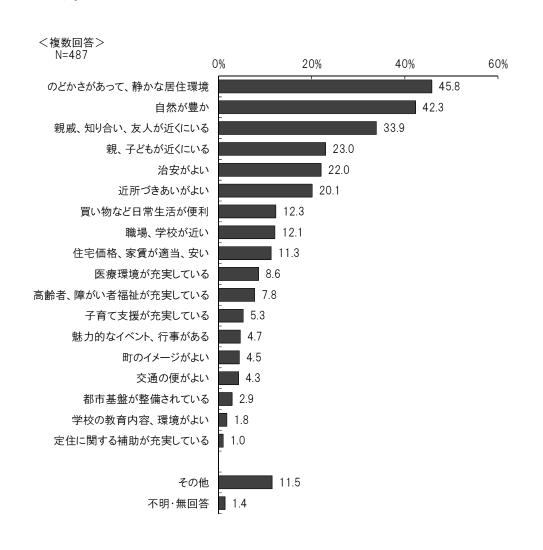


時系列推移でみると、『住み続けたい』の割合が 61.1%と、前回調査の 63.7%から 2.6 ポイント低くなっています。一方、「いずれ町外に出ていきたい」の割合がやや高くなっています。



問8-1 どのような点で今後も住み続けたいと思いますか。(主なもの3つにO)

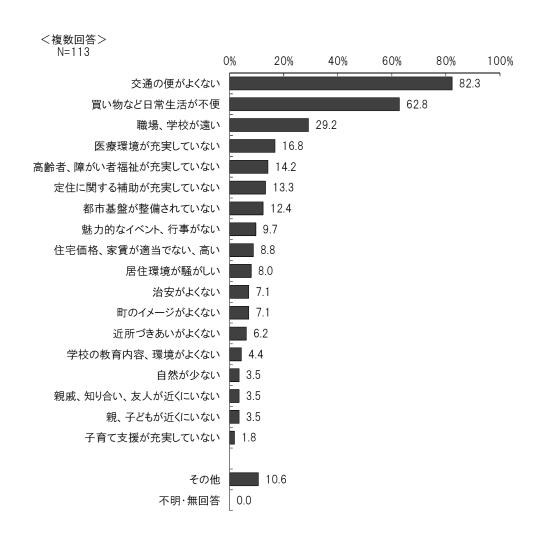
住み続けたい理由についてみると、「のどかさがあって、静かな居住環境」が 45.8%と最も高く、次いで「自然が豊か」が 42.3%、「親戚、知り合い、友人が近くにいる」が 33.9% となっています。



- · 持ち家があるから
- ·ずっと住んできた町だから
- ・生まれた育った町だから
- 住み慣れているから
- ・この年齢では住み替えは無理
- ・今のところ他の町に行く理由がない
- · 落ち着く
- ・什方なく
- ・よそに行こうとは思わない
- ・家族が病気で面倒みないといけないから
- ・住居を移動するのが面倒
- ・北九州市の隣で便利

間8-2 どのような点でいずれ町外に出ていきたいと思いますか。(主なもの3つにO)

町外に出ていきたい理由についてみると、「交通の便がよくない」が82.3%、「買い物など 日常生活が不便」が62.8%となっています。



- ・自衛隊の飛行機が騒がしい
- ・芦屋は田舎すぎて私には合わない。門司ぐらいの程よい田舎が良い
- ・水道代が高い。水が汚い
- ・大学、就職先が近くにない
- ・親元を離れて暮らしてみたい。近くに娯楽の場や買い物をする場がない
- ・買い物の品物が高い。町立病院への受け入れが良くない
- ・障がい者のための施設が少ない
- ・子どもたちが帰ってくることはないので、私たちが子どもたちの近くに
- ・本屋とゲーム屋
- ·転勤があるため

3. 町の取り組みに対する満足度・重要度について

問9 芦屋町のこれまでの取り組みについて、あなたはどのくらい満足し、また、重要とお考えですか。(各項目について、「満足度」、「重要度」からそれぞれ1つずつにO)

町の取り組みについて、39 の項目を掲げ、それぞれの「満足度」「重要度」を4段階評価で回答を得ました。

■町の取り組み

	項目	代表的な事業など
1	公共交通機関の利便性	・町内を運行する北九州市営バス、芦屋タウンバスの路 線や運行本数、巡回バスの運行など
2	道路網の利便性や生活道路の 整備	・幹線道路、身近な生活道路の利便性、整備の状態など
3	交通安全の推進	・交通安全運動の実施、カーブミラーや道路照明などの 交通安全施設の設置状況など
4	上水道の安定供給	・北九州市による水道の安全・安定供給など
5	下水道	・下水道施設の整備状況など
6	地震や風水害などの防災対策	・自主防災組織への支援、防災地図や防災訓練の実施、 防災無線の整備や避難所の設置状況など
7	火事などの消防対策	・迅速な消火活動、消防団活動の支援など
8	犯罪などの防犯対策	・自治防犯組合などの町内巡回活動の支援、見回りの強 化、防犯街灯や防犯カメラの設置など
9	町並み、景観の向上	・花壇の整備、街路樹の剪定、誘導看板や総合案内板な どの整備状況など
10	公園や緑地の充実	・中央公園、海浜公園、夏井ヶ浜はまゆう公園などの維持や整備など
11	ごみの資源化や減量化	・自治区などによる資源物の集団回収奨励制度、生ごみ 処理容器やダンボールコンポストなどの助成制度など
12	海や川などの自然環境の保全	・ラブアース活動(海岸線や河川の一斉清掃)など
13	生活環境の向上	・不法投棄防止パトロール、放置自転車対策、不法係留 船対策など
14	農業の振興	·新規就農者への就農支援、用水路やため池などの維持 や整備など
15	漁業の振興	・漁港や漁業施設の維持や整備など

16 商業の振興 ・にこにこ商品券・高額商品券・の運営や設備資金の借入支援を の運営や設備資金の借入支援を 17 商店街などの中心市街地の整備 ・商業者への支援や企業誘致、3	など空店舗活用の補助制度な
1 1/ 1 商店街などの中心市街地の整備 1 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
1 I	
18 観光の振興 ・国民宿舎・レジャープールア・ 場の運営、観光情報の発信なる	
19 イベントの開催 ・あしや砂像展の実施、花火大: 催支援など	会や祭りあしやなどの開
20 地域医療の充実 ・ 芦屋中央病院の医療機器の充実 など	実や町内の医院との連携
21 健康づくり事業の充実 ・特定健診・がん検診の実施、位 ど	健康・運動教室の実施な
22 高齢者福祉の充実 ・介護予防事業、地域交流サロジンの在宅福祉サービスの実施が	
23 障がい者福祉の充実 ・障がい児デイサービス「芦屋する 公共施設のバリアフリー化、 付など	
24 児童福祉、子育て支援の充実 ・子ども医療費の拡充、学童クセンターの運営や育児教室の	
25 学校教育と就学前の教育の充実 ・小学校 4 年生までの 35 人学級の放課後特別授業の実施など・保育所・幼稚園・小学校・中学・特別支援教育の推進など	
26 生涯学習の充実 ・各公民館講座、祖父母学級、「文化協会への活動支援など	司好会活動などの推進、
27 公民館などの社会教育施設の 充実 ・中央公民館、東公民館、山鹿会館などの運営など	公民館、図書館、町民会
28 人権教育の推進 ・人権まつり、人権講演会の実施など ・ 大権を発の実施など	施、人権カレンダーの発
29 地域などのコミュニティの 活性化 ・自治区活動への支援、自治区 域活動に参加し、町民による ポートを行う活動)の推進なる	自主的な地域づくりのサ
30 レクリエーション、スポーツの 振興 ・総合体育館・武道館などの管理 くり講座の開催、スポーツ大会 ど	
・	の里の運営や企画展の実
32 国際交流の推進 ・国際交流協会への支援、中学会	生のホームステイ事業な
33 男女共同参画の推進 ・男女平等や相互理解について(施など	の講演会や啓発などの実
34 雇用対策や就業環境の向上 ・企業誘致を促進する条例、創 制度など	業等促進支援事業補助金

	項目	代表的な事業など
35	町内情報通信基盤の整備	・芦屋釜の里、レジャープールアクアシアンへの無料公衆無線 LAN の整備、インターネットを利用した情報提供など
36	 町の情報の積極的な公表 	・広報あしやの発行、出前町長室、出前講座、町のホームページ運営など
37	まちづくりへの住民参画・協働	・住民と行政との情報の共有、パブリックコメントの実施、計画などへの住民の意見の反映など
38	競艇事業の振興	・売上向上に向けた取り組み(グレードレース誘致、モーニングレース実施、発売場数の増)、施設の整備改善(グループ席、VIPルームの設置)、多目的利用(イベント時の施設開放)など
39	行財政改革の推進	・自主財源の確保、効率的な行政運営の推進など

1. 満足度、重要度の平均評定値による分析

満足度と重要度は以下に示す平均評定値(加重平均値)を算出する方法で点数化しています。

- ○「満足度」については「満足」「やや満足」への回答とともに、「やや不満」「不満」という選択肢もあります。このため、「満足度」をより的確に分析するために、平均評定値による指標化を行いました。
- ○平均評定値は、「満足」に4点、「やや満足」に3点、「やや不満」に2点、「不満」に 1点の係数(ウエイト)を設定し、
- 【「満足」の回答件数 \times 4点+「やや満足」の回答件数 \times 3点+「やや不満」の回答件数 \times 2点+「不満」の回答件数 \times 1点】÷【回答者件数-無回答件数-「わからない」の回答件数】の計算によって算出し、指標としています。
- ○この指標によって、「満足度」の強弱をより明確に分析することが可能です。
- ○「重要度」についても、同様の算出方法で平均評定値を算出しています。

(1) 満足度

満足度が最も高い取り組みは「上水道の安定供給」(平均評定値 3.35)、次いで「下水道」(3.31)、「火事などの消防対策」(3.09)が続き、以下「健康づくり事業の充実」(3.02)、「国際交流の推進」(2.94)の順となっています。

一方、最も満足度が低い取り組みは「商店街などの中心市街地の整備」(1.91)、次いで「公共交通機関の利便性」(2.00)、「生活環境の向上」(2.30)、「雇用対策や就業環境の向上」(2.34)、「行財政改革の推進」(2.42)などがあげられます。

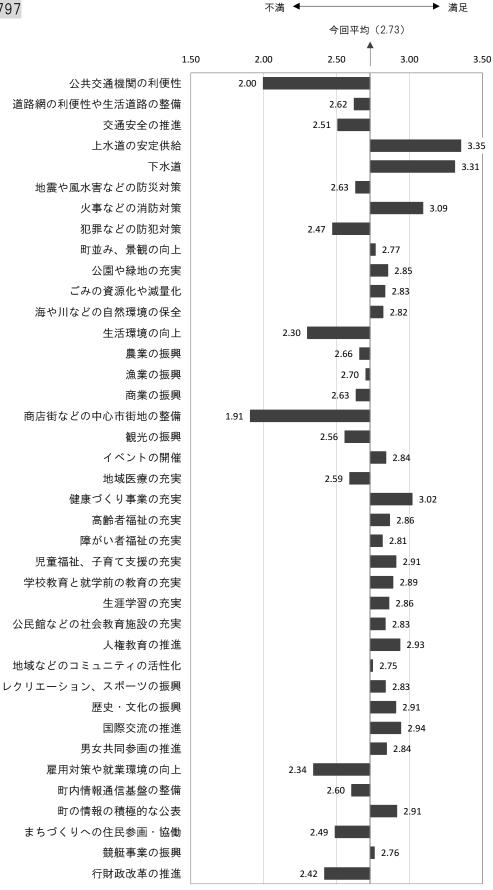
(2)重要度

重要度が最も高い取り組みは「地域医療の充実」(3.38)、次いで「地震や風水害などの防災対策」「火事などの消防対策」(3.37)、「犯罪などの防犯対策」(3.32)、「下水道」「行財政改革の推進」(3.28)の順となっています。

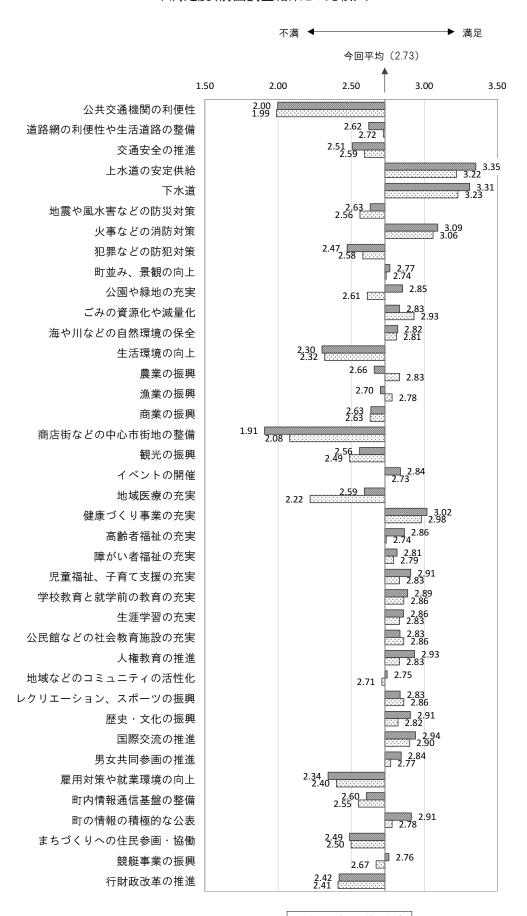
一方、最も重要度が低い取り組みは「男女共同参画の推進」(2.60)、次いで「国際交流の推進」(2.63)、「人権教育の推進」(2.67)、「商業の振興」(2.69)、「歴史・文化の振興」(2.72) などがあげられます。

◆満足度の平均評定値◆



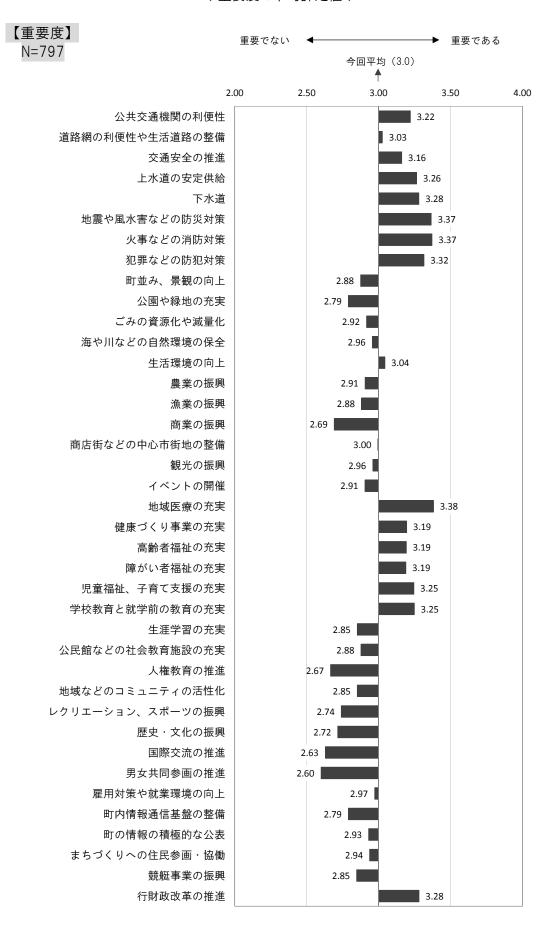


◆満足度(前回調査結果との比較)◆

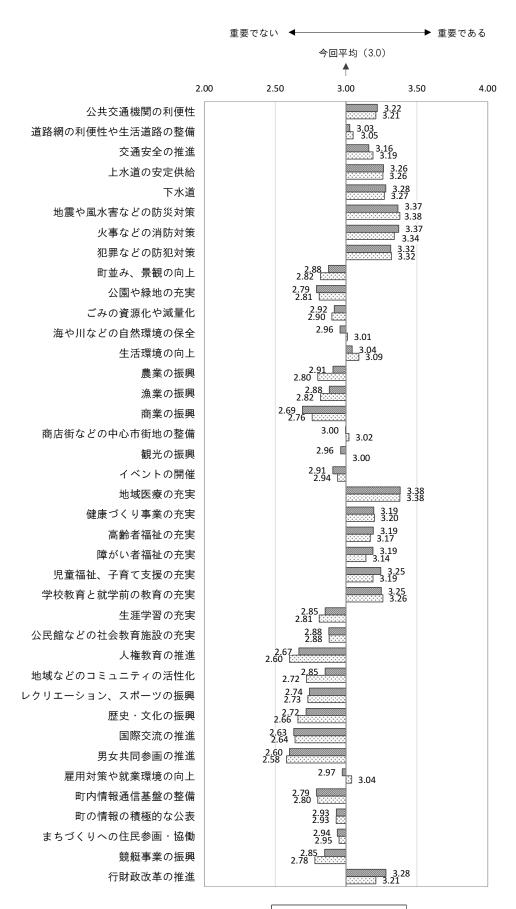


■今回調査 □前回調査

◆重要度の平均評定値◆



◆重要度(前回調査結果との比較)◆

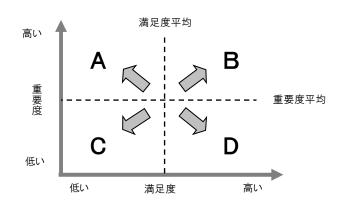


■今回調査 □前回調査

2. 満足度と重要度の相関図による分析

満足度と重要度それぞれの平均評定値に基づき、縦軸に重要度、横軸に満足度を設定し、39 の項目を散布図上に示したものが相関図です。

縦軸に重要度、横軸に満足度をとった相関図では、満足度と重要度を4つの区画上に示すことで、各項目の位置づけを整理します。満足度と重要度の各々の平均を示す点から左上(A)、右上(B)、左下(C)、右下(D)の4方向に進むに従い、以下の傾向を示しています。



A. 重要度が高く、満足度が低い(重点化·見直し領域)

今後のまちづくりにおける重要度が高いが、満足度が相対的に低く、項目の 重点化や抜本的な見直しなども含め満足度を高める必要のある領域です。

「地域医療の充実」「地震や風水害などの防災対策」「犯罪などの防犯対策」「行財政改革の推進」「公共交通機関の利便性」などが該当します。

B. 重要度、満足度ともに高い(現状維持領域)

今後のまちづくりにおける重要度も満足度も高く、現時点での満足度の水準 を維持していくことが必要な領域です。

「火事などの消防対策」「下水道」「上水道の安定供給」「学校教育と就学前の教育の充実」「児童福祉・子育て支援の充実」などが該当します。

C. 重要度、満足度ともに低い(改善·見直し領域)

今後のまちづくりにおける重要度も満足度も低く、項目の目的やニーズを再確認するとともに、項目のあり方や進め方そのものをあらためて見直す必要のある領域です。

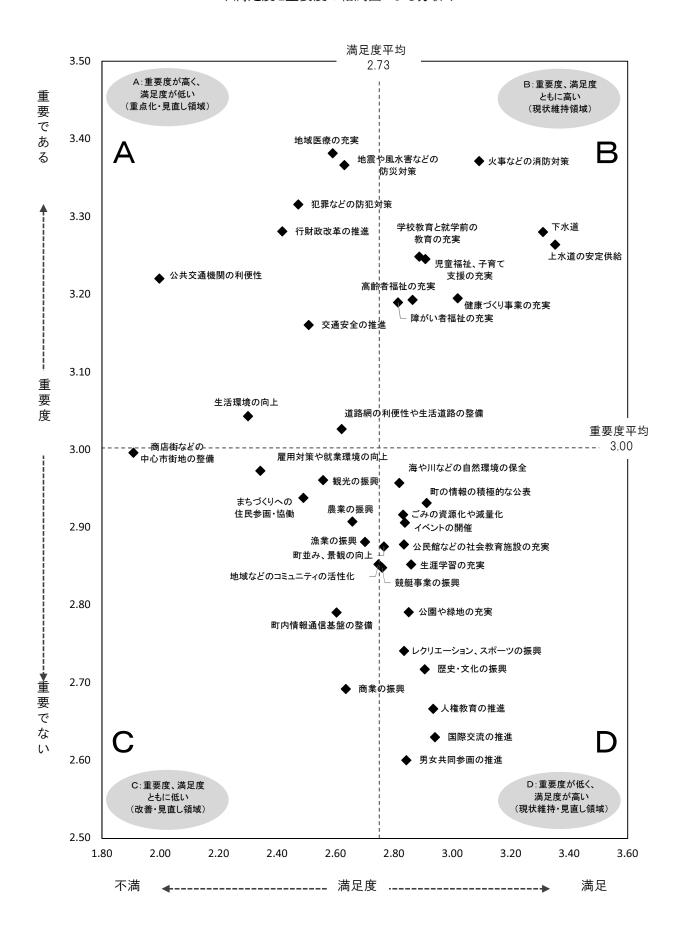
「商業の振興」「町内情報通信基盤の整備」「地域などのコミュニティの活性化」などが該当します。

D. 重要度が低く、満足度が高い(現状維持·見直し領域)

今後のまちづくりにおける重要度は低いものの満足度が高く、満足度の水準 を維持していくか、あるいは項目のあり方を含めて見直すべき必要のある領域 です。

「男女共同参画の推進」「国際交流の推進」「人権教育の推進」「歴史・文化の 振興」などが該当します。

◆満足度と重要度の相関図による分析◆



◆満足度と重要度(前回調査結果との比較)◆

	満足	建度	重要	重要度		
	今回調査 前回調査		今回調査	前回調査		
1 公共交通機関の利便性	2.00	1.99	3.22	3.21		
2 道路網の利便性や生活道路の整備	2.62	2.72	3.03	3.05		
3 交通安全の推進	2.51	2.59	3.16	3.19		
4 上水道の安定供給	3.35	3.22	3.26	3.26		
5 下水道	3.31	3.23	3.28	3.27		
6 地震や風水害などの防災対策	2.63	2.56	3.37	3.38		
7 火事などの消防対策	3.09	3.06	3.37	3.34		
8 犯罪などの防犯対策	2.47	2.58	3.32	3.32		
9 町並み、景観の向上	2.77	2.74	2.88	2.82		
10 公園や緑地の充実	2.85	2.61	2.79	2.81		
11 ごみの資源化や減量化	2.83	2.93	2.92	2.90		
12 海や川などの自然環境の保全	2.82	2.81	2.96	3.01		
13 生活環境の向上	2.30	2.32	3.04	3.09		
14 農業の振興	2.66	2.83	2.91	2.80		
15 漁業の振興	2.70	2.78	2.88	2.82		
16 商業の振興	2.63	2.63	2.69	2.76		
17 商店街などの中心市街地の整備	1.91	2.08	3.00	3.02		
18 観光の振興	2.56	2.49	2.96	3.00		
19 イベントの開催	2.84	2.73	2.91	2.94		
20 地域医療の充実	2.59	2.22	3.38	3.38		
21 健康づくり事業の充実	3.02	2.98	3.19	3.20		
22 高齢者福祉の充実	2.86	2.74	3.19	3.17		
23 障がい者福祉の充実	2.81	2.79	3.19	3.14		
24 児童福祉、子育て支援の充実	2.91	2.83	3.25	3.19		
25 学校教育と就学前の教育の充実	2.89	2.86	3.25	3.26		
26 生涯学習の充実	2.86	2.83	2.85	2.81		
27 公民館などの社会教育施設の充実	2.83	2.86	2.88	2.88		
28 人権教育の推進	2.93	2.83	2.67	2.60		
29 地域などのコミュニティの活性化	2.75	2.71	2.85	2.72		
30 レクリエーション、スポーツの振興	2.83	2.86	2.74	2.73		
31 歴史・文化の振興	2.91	2.82	2.72	2.66		
32 国際交流の推進	2.94	2.90	2.63	2.64		
33 男女共同参画の推進	2.84	2.77	2.60	2.58		
34 雇用対策や就業環境の向上	2.34	2.40	2.97	3.04		
35 町内情報通信基盤の整備	2.60	2.55	2.79	2.80		
36 町の情報の積極的な公表	2.91	2.78	2.93	2.93		
37 まちづくりへの住民参画・協働	2.49	2.50	2.94	2.95		
38 競艇事業の振興	2.76	2.67	2.85	2.78		
39 行財政改革の推進	2.42	2.41	3.28	3.21		

※数字は平均評定値

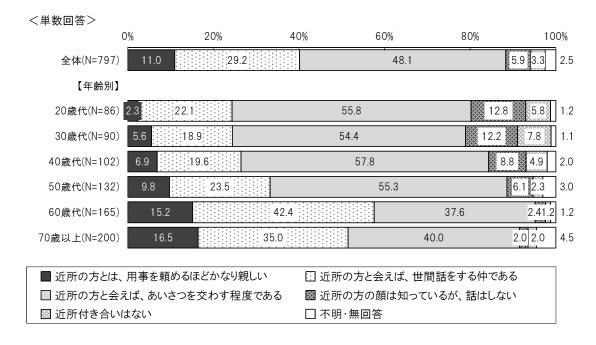
4. その他、まちの重点的な取り組みなどについて

◆地域について

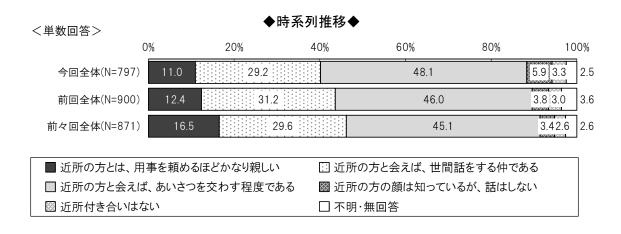
間 10 ふだん近所の方とどの程度の付き合いをされていますか。(1つにO)

近所との付き合いの程度についてみると、「近所の方と会えば、あいさつを交わす程度である」が 48.1%と最も高く、次いで「近所の方と会えば、世間話をする仲である」が 29.2%、「近所の方とは、用事を頼めるほどかなり親しい」が 11.0%となっています。

年齢別では、年齢が上がるほど「近所の方とは、用事を頼めるほどかなり親しい」の割合が高くなる傾向がみられます。また、20歳代、30歳代では「近所付き合いはない」の割合が他の年齢と比較してやや高くなっています。



時系列推移でみると、「近所の方とは、用事を頼めるほどかなり親しい」の割合が11.0%と、前回調査の12.4%からやや低くなっています。一方、「近所の方と会えば、あいさつを交わす程度である」「近所の方の顔は知っているが、話はしない」の割合が前回調査と比較してやや高くなっています。

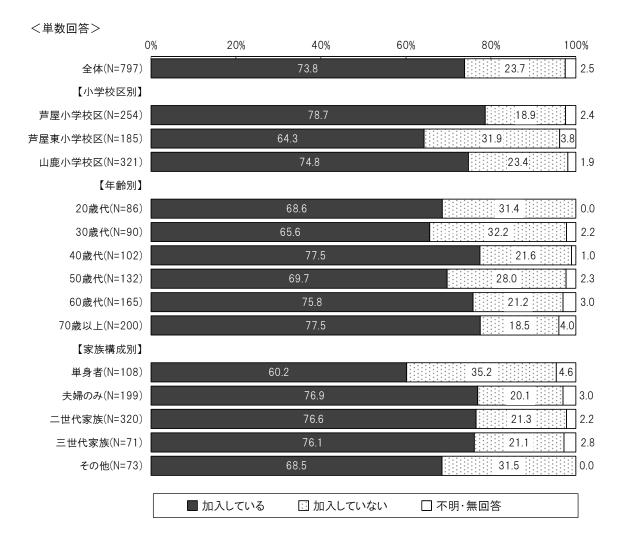


問11 自治区に加入していますか。(1つに〇)

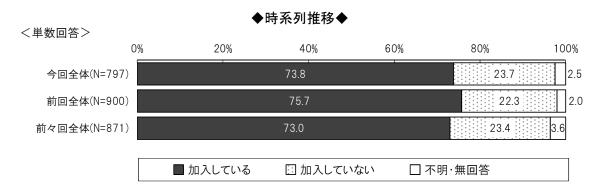
自治区の加入状況についてみると、「加入している」(以下、「加入率」)が73.8%とおよそ7割を占めています。

加入率は、小学校別では、芦屋小学校区が 78.7%、年齢別では、40 歳代が 77.5%と他と 比較して高くなっています。

家族構成別では、単身者の加入率が60.2%と他と比べてやや低くなっています。

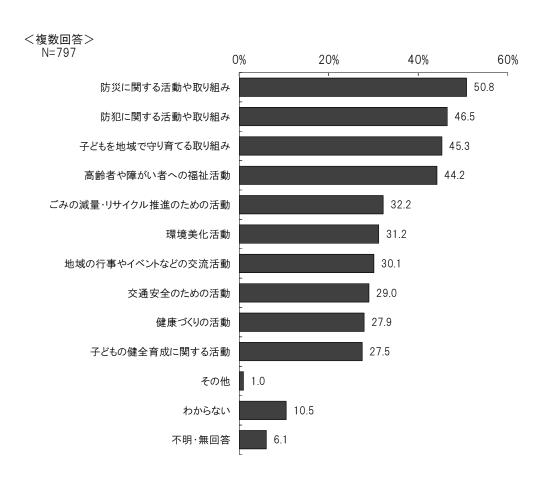


時系列推移でみると、「加入率」が 73.8% と、前回調査の 75.7% からやや低くなっていますが、大きな変化はみられませんでした。



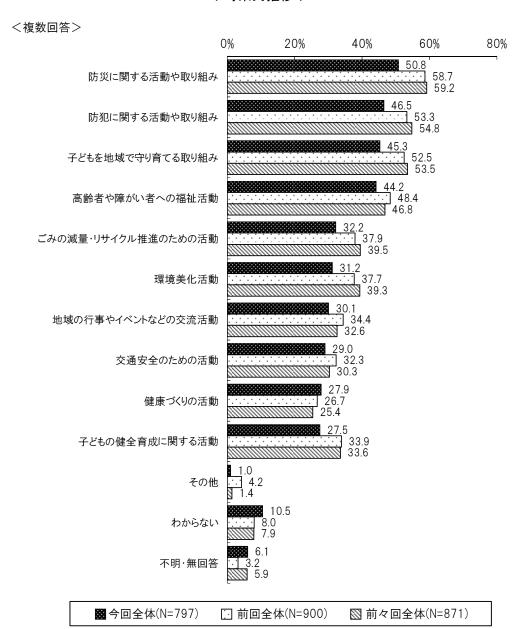
問 12 自治区の活動に今後どのような活動が必要だと思いますか。 (あてはまるものすべてにO)

自治区の活動に今度必要な活動についてみると、「防災に関する活動や取り組み」が 50.8% と最も高く、次いで「防犯に関する活動や取り組み」が 46.5%、「子どもを地域で守り育てる 取り組み」が 45.3%となっています。



時系列推移をみると、「健康づくりの活動」で前回調査をやや上回っている以外は、いずれ の項目においても前回調査を下回っています。

◆時系列推移◆



小学校区別、性別では、「防災に関する活動や取り組み」の割合が最も高くなっています。 年齢別では、20歳代で「防犯に関する活動や取り組み」、30歳代では「子どもを地域で守 り育てる取り組み」、40歳代から60歳代では「防災に関する活動や取り組み」、70歳以上で は「高齢者や障がい者への福祉活動」の割合が高くなっています。

単位:%

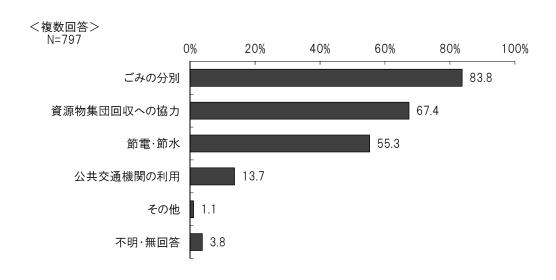
		取り組み防災に関する活動や	取り組み防犯に関する活動や	守り育てる取り組み子どもを地域で	福祉活動高齢者や障がい者への	推進のための活動でみの減量・リサイクル	環境美化活動	などの交流活動 地域の行事やイベント	交通安全のための活動	健康づくりの活動	関する活動子どもの健全育成に	その他	わからない	不明・無回答
全体	(N=797)	50.8	46.5	45.3	44.2	32.2	31.2	30.1	29.0	27.9	27.5	1.0	10.5	6.1
小	芦屋小学校区 (N=254)	52.4	46.1	44.1	44.1	30.7	30.7	28.7	25.6	26.0	31.1	0.0	9.1	6.3
小学校区別	芦屋東小学校区 (N=185)	51.9	50.8	47.0	44.9	30.3	27.6	26.5	35.7	28.6	31.4	1.6	13.5	6.5
別	山鹿小学校区 (N=321)	49.5	45.2	46.7	43.9	33.0	31.8	33.0	27.4	27.1	23.4	1.2	11.2	5.3
性別	男性(N=368)	48.6	44.6	40.8	39.7	31.8	29.9	29.9	27.4	26.1	27.2	0.8	12.0	7.3
別	女性(N=410)	52.7	48.3	50.2	48.3	31.7	31.7	30.2	30.5	28.8	28.3	1.2	9.8	4.6
	20 歳代(N=86)	45.3	46.5	41.9	26.7	24.4	24.4	24.4	31.4	10.5	25.6	1.2	17.4	2.3
	30 歳代(N=90)	41.1	40.0	50.0	34.4	24.4	18.9	26.7	25.6	12.2	33.3	1.1	18.9	2.2
年齢別	40 歳代(N=102)	57.8	44.1	50.0	37.3	24.5	27.5	27.5	27.5	19.6	23.5	1.0	13.7	2.9
別	50 歳代(N=132)	56.1	50.8	43.2	48.5	30.3	28.0	34.1	28.8	26.5	27.3	0.8	8.3	6.1
	60 歳代(N=165)	51.5	46.7	44.2	50.3	37.6	37.0	26.1	27.9	37.0	29.1	2.4	9.1	6.1
	70 歳以上(N=200)	50.5	47.5	46.5	52.0	38.0	37.0	36.0	32.0	38.5	27.5	0.0	6.0	10.0

- ・自治区に加入していない人のゴミ捨てなどについて、もっと自治区の加入に積極的になってほしい ・寄付ばかりで活動していない
- ・区活動に参加するためには、加入の増加が必須
- ・自治区に老人会がない
- ・自主財源を確保するためのイベントや商品開発
- ・素敵なイベントがあるのを知らない人が多いのでもったいない。 CM をもっと上手にする。もっと若い世代の意見を取り入れて、新しい時代にあったイベントを開催し、年配の方だけでなく、集客や世帯を増やしたほうがより良くなると思う
- ・問12の1~10まで必要だと思うが、高齢者自治区では無理。また、小さな自治区ではあまりに出事が多すぎて、自治区加入を辞退したくなる
- ・覚せい剤から町民を守るため、覚せい剤使用者、覚せい剤犯罪者を通報する教育を推奨

◆環境問題への取り組みについて

問 13 日ごろから環境問題について、どのような取り組みをされていますか。 (あてはまるものすべてにO)

環境問題への取り組みについては、「ごみの分別」が 83.8%と最も高く、次いで「資源物集団回収への協力」が 67.4%「節電・節水」が 55.3%となっています。



時系列推移をみると、「節電・節水」が前回調査から9.6%低くなっています。

◆時系列推移◆ <複数回答> 0% 20% 40% 60% 80% 100% 83.8 ごみの分別 83.9 83.2 67.4 資源物集団回収への協力 ∵ 69.4 65.2 64.9 節電·節水 69.2 13.7 16.7 公共交通機関の利用 16.9 その他 2.0 1.8 3.8 不明·無回答 4.6

■今回全体(N=797) □ 前回全体(N=900) 図前々回全体(N=871)

小学校区別、性別では、「ごみの分別」の割合が最も高く、次いで「資源物集団回収への協力」となっています。

年齢別では、「ごみの分別」がいずれの年齢においても最も高く、次いで、20歳代では「節電・節水」、それ以外の年齢では「資源物集団回収への協力」の割合が高くなっています。

単位:%

		ごみの分別	資源物集団回収への協力	節電·節水	公共交通機関の利用	その他	不明・無回答
全体(N=797)		83.8	67.4	55.3	13.7	1.1	3.8
小	芦屋小学校区 (N=254)	82.3	69.3	51.6	16.1	0.8	4.3
小学校区別	芦屋東小学校区 (N=185)	84.9	67.6	57.8	15.7	1.6	3.2
別	山鹿小学校区 (N=321)	85.0	67.3	57.9	10.0	0.9	3.7
性別	男性(N=368)	80.2	64.9	51.6	10.9	1.9	4.6
別	女性(N=410)	87.6	70.0	58.5	16.1	0.2	2.9
	20 歳代(N=86)	80.2	40.7	47.7	14.0	2.3	3.5
	30 歳代(N=90)	90.0	54.4	50.0	11.1	0.0	2.2
年	40 歳代(N=102)	80.4	67.6	54.9	9.8	1.0	2.9
年齢別	50 歳代(N=132)	87.9	70.5	61.4	14.4	1.5	2.3
	60 歳代(N=165)	86.7	77.0	55.8	10.9	1.8	3.6
	70 歳以上(N=200)	80.5	75.5	57.5	18.0	0.0	5.5

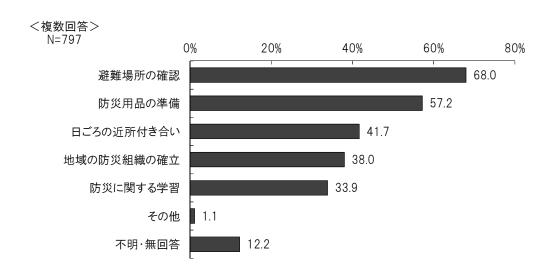
◆「その他」の内訳◆

- 自宅周りの草取り
- ・無駄を減らす
- ·清掃活動
- ·雨水の pH 調査参加
- ・給食センター等の生ごみの堆肥化と花壇づくりの推進(特に国道の 美化を高めてほしい)。 雑草の道路が続いてイメージが悪い
- ・ 車に乗らない

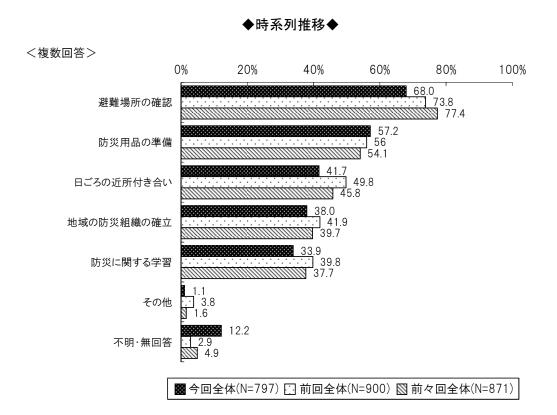
◆防災について

問 14 地震や洪水に備えてどのようなことが必要と考えていますか。 (あてはまるものすべてにO)

防災についてみると、「避難場所の確認」が 68.0%と最も高く、次いで「防災用品の準備」 が 57.2%、「日ごろの近所付き合い」が 41.7%となっています。



時系列推移をみると、「防災用品の準備」が前回調査と比較してやや高く、それ以外はやや 低くなっています。



小学校区別、性別では、「避難場所の確認」が最も高くなっています。

年齢別では、40歳代で「防災用品の準備」、それ以外の年齢では「避難場所の確認」が最も高くなっています。また、70歳以上では「日ごろの近所付き合い」が他の年齢と比較してやや高くなっています。

単位:%

							'	·加. /0
		避難場所の確認	防災用品の準備	日ごろの近所付き合い	地域の防災組織の確立	防災に関する学習	その他	不明・無回答
全体	全体(N=797)		57.2	41.7	38.0	33.9	1.1	12.2
小	芦屋小学校区 (N=254)	69.3	52.4	41.7	39.4	33.5	1.6	13.4
小学校区別	芦屋東小学校区 (N=185)	67.0	56.2	44.9	37.8	32.4	0.0	11.9
別	山鹿小学校区 (N=321)	68.2	62.6	39.6	38.0	35.2	1.6	10.6
性別	男性(N=368)	63.3	52.7	38.9	40.2	32.3	0.8	12.8
別	女性(N=410)	72.9	61.2	44.1	36.8	35.4	1.5	10.7
	20 歳代(N=86)	67.4	59.3	22.1	34.9	51.2	1.2	8.1
	30 歳代(N=90)	75.6	63.3	30.0	31.1	27.8	3.3	7.8
年	40 歳代(N=102)	57.8	60.8	36.3	30.4	38.2	0.0	15.7
年齢別	50 歳代(N=132)	69.7	59.8	37.1	41.7	35.6	0.8	12.1
	60 歳代(N=165)	67.9	55.2	48.5	44.2	32.7	1.8	11.5
	70 歳以上(N=200)	70.5	51.5	55.0	40.5	27.0	0.5	13.0

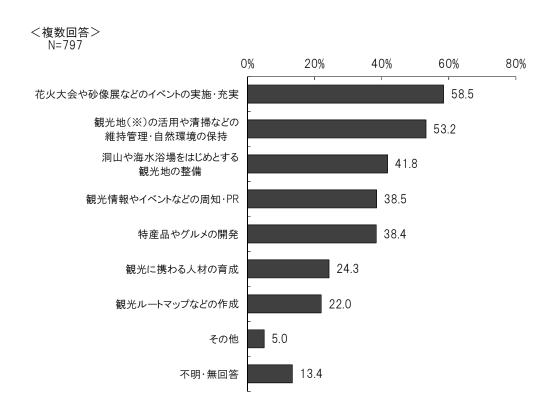
◆「その他」の内訳◆

- ·避難訓練
- ・被災地へ行って話を聞くことが大切
- ・独居高齢者の身体機能の状況を地域で把握
- ・自分の身は自分で守る

◆観光の活性化について

問 15 町の観光をより推進するために、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(あてはまるものすべてにO)

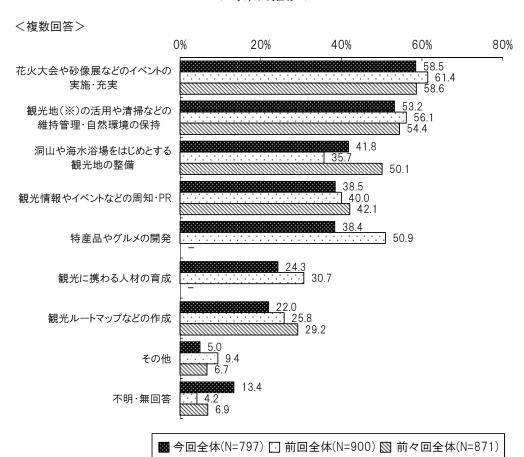
観光の活性化についてみると、「花火大会や砂像展などのイベントの実施・充実」が 58.5%、 次いで「観光地(※) の活用や清掃などの維持管理・自然環境の保持」が 53.2%、「洞山や 海水浴場をはじめとする観光地の整備」が 41.8%となっています。



(※)夏井ヶ浜はまゆう公園、海浜公園、レジャープールアクアシアン、芦屋海岸、洞山など

時系列推移をみると、「洞山や海水浴場をはじめとする観光地の整備」が前回調査と比較してやや高く、それ以外ではやや低くなっています。

◆時系列推移◆



(※)夏井ヶ浜はまゆう公園、海浜公園、レジャープールアクアシアン、芦屋海岸、洞山など 注:「特産品やグルメの開発」「観光に携わる人材の育成」は前々回調査では設定なし。 小学校区別、性別では、「花火大会や砂像展などのイベントの実施・充実」が最も高く、次いで「観光地(※)の活用や清掃などの維持管理・自然環境の保持」となっています。

年齢別では、60歳代以上で「観光地(※)の活用や清掃などの維持管理・自然環境の保持」、 それ以外では「花火大会や砂像展などのイベントの実施・充実」が最も高くなっています。

単位:%

		イベントの実施・充実 花火大会や砂像展などの	維持管理・自然環境の保持観光地(※)の活用や清掃などの	観光地の整備洞山や海水浴場をはじめとする	周知・PR観光情報やイベントなどの	特産品やグルメの開発	観光に携わる人材の育成	観光ルートマップなどの作成	その他	不明・無回答
全体(N=797)		58.5	53.2	41.8	38.5	38.4	24.3	22.0	5.0	13.4
小	芦屋小学校区 (N=254)	56.7	53.1	38.6	33.1	37.8	24.4	22.0	6.7	15.0
小学校区別	芦屋東小学校区 (N=185)	60.5	50.3	41.6	42.7	43.2	24.3	23.8	1.6	12.4
別	山鹿小学校区 (N=321)	58.6	56.1	44.9	40.8	38.3	23.7	20.6	5.6	12.5
性別	男性(N=368)	56.3	52.4	42.7	36.1	40.2	23.4	22.8	4.3	13.9
別	女性(N=410)	61.0	53.9	41.0	41.2	38.0	24.9	21.0	5.9	12.2
	20 歳代(N=86)	73.3	52.3	46.5	44.2	40.7	17.4	10.5	9.3	10.5
	30 歳代(N=90)	62.2	51.1	40.0	48.9	34.4	24.4	14.4	8.9	6.7
年齢別	40 歳代(N=102)	57.8	45.1	40.2	25.5	41.2	17.6	15.7	2.9	14.7
別	50 歳代(N=132)	59.8	55.3	49.2	43.9	35.6	19.7	23.5	5.3	12.9
	60 歳代(N=165)	50.9	52.7	37.6	40.6	45.5	29.1	27.3	5.5	13.9
	70 歳以上(N=200)	57.0	57.5	39.5	33.5	37.0	28.5	28.0	2.5	15.5

(※)夏井ヶ浜はまゆう公園、海浜公園、レジャープールアクアシアン、芦屋海岸、洞山など

◆「その他」の内訳◆

- バスの整備
- ・商店街の活性化も必要では(観光に来ても商店街が何もなければ、引きつけない)
- ・現状のままで良い
- 人口増加のためのアピール
- ・時代にあった行動。インスタ映えする場所。カウントダウン等
- ・婚活パーティーなどをしてほしい
- ·交通の便を良くする
- ·新たなイベントの実施(例:さわらサミット、ハシゴ酒)
- ・お風呂を一箇所に集中させて、一日中有意義に過ごせる施設をつくってほしい。他市町からも来られるようにして、町にお金を落とすよう努力してほしい
- ・食べ物が一番人を呼べる気がします。あしや釜にちなんで、釜めし街道など。 いろんな料理屋さんにアイ デアを出してもらう。 スイーツでも良い
- ・芦屋港周辺の整備、港の活用
- ・各地区の公園がすたれすぎ。遊具がまったくなく、人も集まらず、防犯上良くない
- ・洞山があまりにも変わったので、びっくり、がっかり
- ・景観の良いところに食事や買い物ができるところがない。 マリンテラス 芦屋の宴会場が 15 時から休憩なのが不満。 ニーズに応じて対応できることがマリンテラスの良いアピールになる
- ・観光できるものが影響が弱い。もう一度行きたいとか家族みんなで行ってみたいという場所、物、食べ物をつくらないと
- ・もっと商業施設をつくってほしい
- ·ごみが多いため清掃が必要
- ・海を眺めながら軽食ができるカフェを夏井ヶ浜につくる
- ・先日糸島に行ってきたがあまり魅力がなかった。当地のほうがはるかに観光できて食べ物もおいしいのに、どうしてもっと PR を上手にしないのか不思議である。メディアをうまく活用し、活性化を図るべきである
- ・国民宿舎のレストランにもっと観光客に来ていただけるようなメニューを開発するなど、もう少し美味しい 食事やスイーツ、コーヒーなどを楽しめるところができるといい
- ・観光施設やイベントを SNS で発信していく
- ・冬限定、夏井ヶ浜のイルミネーション
- ・観光ガイドの育成を図る
- ・問15の1~7まで推進に必要なのでしょうが、観光の発展で芦屋町をどうしたいのでしょうか。従来からビジョンが示されていますが、成果が今一つわからない
- ・おしゃれなカフェなど
- ・観光協会の働き方改革
- ・町内の歩道の雑草の剪定
- ・宿泊先を増やす
- ・様々なイベントがあっても滞在時間が短いため、お金が落ちないような気がする。 もっと長く町を見てもら えるような仕組みが必要
- ・花火大会は2~3年に一度盛大にまとめてしたほうが良いと思う
- 自然も守ってほしい
- ・自然を活かした観光、客集め、宿泊施設
- · 競艇場の地域活用
- ・フィルムコミッションのように映画やドラマの撮影やロケに協力することで、メディアが良いPR効果をもたらす。また、星野村のようなキャンプ場や他県や町外からわざわざ行こうと思わせる魅力がある町でないと素通りする町にすぎない。もっともっとメディアに出すべきだと思う。北九州の方はわざわざ宗像や糸島まで行っている。魚や野菜をもっと前面に出すべき

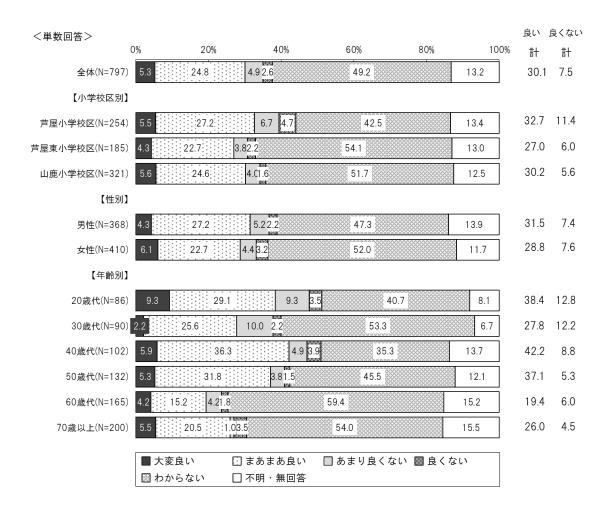
◆教育について

問 16 町の小中学校の教育についてどう評価しますか。(1つに〇)

町の小中学校の教育に対する評価についてみると、「大変良い」が 5.3%、「まあまあ良い」が 24.8%で合計 30.1%が『良い』と回答しています。一方、「あまり良くない」が 4.9%、「良くない」が 2.6%と合わせて 7.5%が『良くない』と回答しています。また、およそ半数の 49.2%が「わからない」と回答しています。

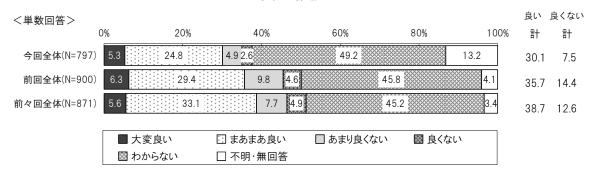
小学校区別では、芦屋小学校区で『良い』の割合が32.7%と他と比較してやや高く、性別では、大きな差はみられませんでした。

年齢別では、40歳代で『良い』の割合が42.2%と他と比較してやや高くなっています。また、20歳代では「大変良い」の割合が他と比較して高くなっています。



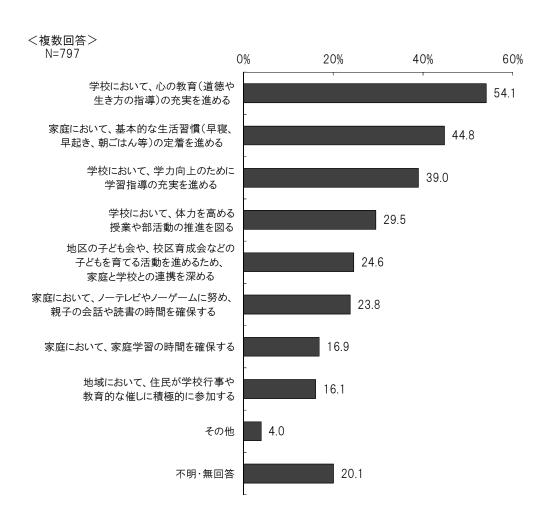
時系列推移でみると、『良い』の割合が前回調査と比較して 5.6%低くなっている一方、『良くない』の割合も 6.9%低くなっています。

◆時系列推移◆



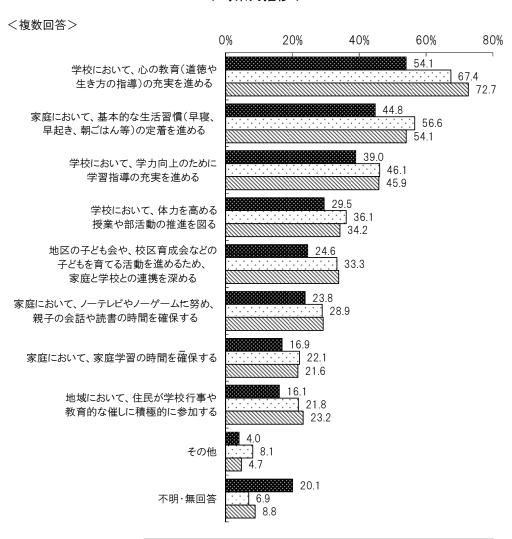
問 17 町の小中学生等に対する教育を向上するために、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(あてはまるものすべてにO)

小中学生の教育向上のために力を入れることについてみると、「学校において、心の教育(道徳や生き方の指導)の充実を進める」が54.1%と最も高く、次いで「家庭において、基本的な生活習慣(早寝、早起き、朝ごはん等)の定着を進める」が44.8%、「学校において、学力向上のために学習指導の充実を進める」が39.0%となっています。



時系列推移でみると、いずれの項目においても、前回調査と比較してやや低くなっています。

◆時系列推移◆



■ 今回全体(N=797) □ 前回全体(N=900) 図 前々回全体(N=871)

小学校区別、性別では、「学校において、心の教育(道徳や生き方の指導)の充実を進める」 が最も高く、次いで「家庭において、基本的な生活習慣(早寝、早起き、朝ごはん等)の定 着を進める」となっています。

年齢別では、いずれの年齢においても「学校において、心の教育(道徳や生き方の指導)の充実を進める」の割合が最も高く、次いで「家庭において、基本的な生活習慣(早寝、早起き、朝ごはん等)の定着を進める」となっています。また、20歳代、30歳代では「学校において、学力向上のために学習指導の充実を進める」の割合も高くなっています。

単位:%

		生き方の指導)の充実を進める学校において、心の教育(道徳や	定着を進める(早寝、早起き、朝ごはん等)の家庭において、基本的な生活習慣	学習指導の充実を進める学校において、学力向上のために	授業や部活動の推進を図る学校において、体力を高める	め、家庭と学校との連携を深めるの子どもを育てる活動を進めるた地区の子ども会や、校区育成会など	時間を確保するゲームに努め、親子の会話や読書の家庭において、ノーテレビやノー	確保する家庭において、家庭学習の時間を	教育的な催しに積極的に参加する地域において、住民が学校行事や	その他	不明・無回答
全体	全体(N=797)		44.8	39.0	29.5	24.6	23.8	16.9	16.1	4.0	20.1
小	芦屋小学校区 (N=254)	53.5	43.3	36.2	29.5	26.0	24.8	17.3	13.8	6.3	21.7
小学校区別	芦屋東小学校区 (N=185)	53.0	47.6	37.8	27.0	25.4	24.3	10.8	13.5	2.7	22.7
別	山鹿小学校区 (N=321)	57.0	44.9	42.1	31.5	22.4	23.4	19.3	19.0	3.4	16.5
性別	男性(N=368)	53.0	38.9	38.3	32.6	24.5	21.2	14.9	16.6	4.6	20.9
別	女性(N=410)	55.6	50.2	40.0	27.1	24.1	26.3	18.0	15.6	3.7	18.8
	20 歳代(N=86)	59.3	39.5	39.5	33.7	18.6	20.9	18.6	12.8	8.1	15.1
	30 歳代(N=90)	57.8	45.6	45.6	38.9	21.1	14.4	17.8	15.6	4.4	8.9
年齢別	40 歳代(N=102)	52.0	44.1	39.2	32.4	22.5	26.5	18.6	18.6	3.9	19.6
別	50 歳代(N=132)	56.1	45.5	44.7	26.5	22.0	26.5	15.9	13.6	5.3	18.2
	60 歳代(N=165)	55.8	47.9	32.1	24.8	29.1	23.6	14.5	21.2	2.4	23.6
	70 歳以上(N=200)	49.5	43.5	39.0	28.5	26.5	26.0	16.0	13.5	3.0	25.0

◆「その他」の内訳◆

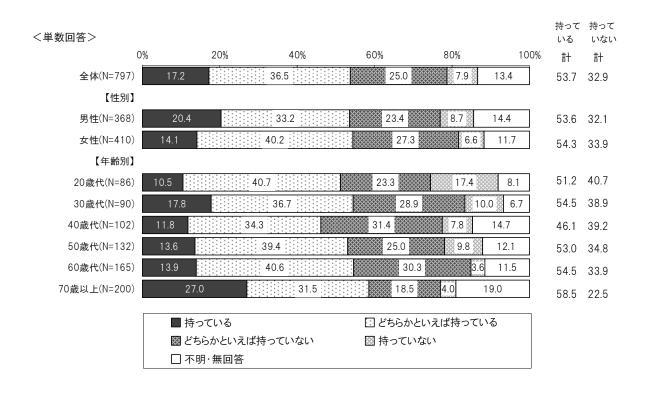
- ・町独持の茶道教室の必修
- ・現状のままで良い
- ・教師の心の教育。子どもへの接し方。障がいがある子への勉強
- ・教職員の増加
- ・問17の1~8までは基本であり、あとは学校単位で考えること。生徒の自主性
- ・将来つきたい職業を見つけさせたらいいと思う
- ・心の教育。すべては自身の心の中に
- ・給食費、修学旅行費は無料に
- ・教師の見直し
- ・子どもの競争力の低下。三つの学校を統合しては。スクールバスの検討
- ・虐待や問題行動を目撃したとき、気軽に相談できる窓口の設置。子どもの夜間徘徊防止のための警察パトロール
- ・塾に行かなくてもすむような教育を
- ·土曜日通常授業復活
- ・様々な取り組みをされていると思うが、町の教育は向上しているのか
- ・子どもの貧困を助ける
- ・図書館で本をよく読めるように、学校と連携
- ・先生の待遇改善を行い、指導に余裕を持たせる
- ・防犯、事故を防ぐ取り組み
- ・学校の授業についていけない子どもへの放課後学習(個別指導)の実施
- ・交通ルールの学習
- ・いじめ対策

◆協働のまちづくりについて

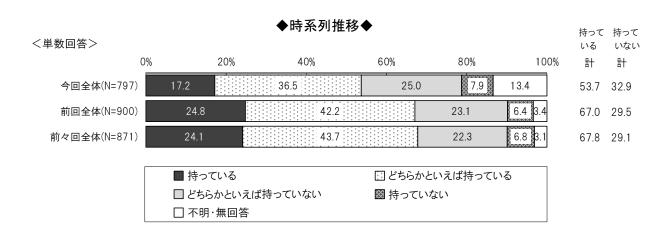
問 18 町の計画や取り組みについて関心を持っていますか。(1つにO)

町の計画や取り組みに対する関心についてみると、「持っている」が 17.2%、「どちらかといえば持っている」が 36.5%と合わせて 53.7%が『持っている』と回答しています。

性別では、男性は女性と比較して「持っている」の割合が高く、年齢別では、70歳以上で「持っている」の割合が他の年齢と比較して高くなっています。



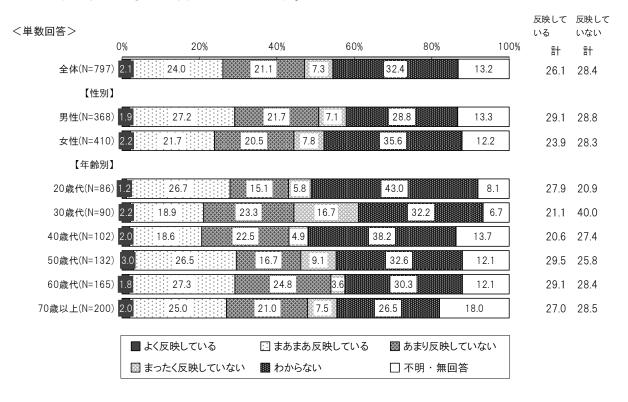
時系列でみると、『持っている』の割合が前回調査と比較して13.3%低くなっています。



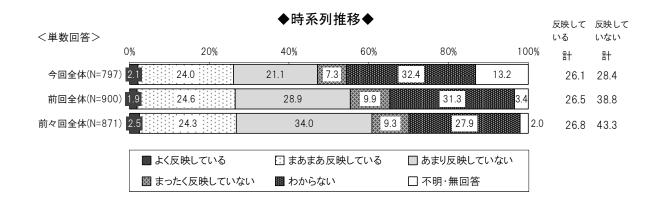
問 19 町は、住民の意見をまちづくりに反映していると思いますか。(1つにO)

まちづくりへの住民意見の反映についてみると、「よく反映している」が 2.1%、「まあま あ反映している」が 24.0%と合わせて 26.1%が『反映している』と回答しています。

性別では、男性は女性と比較して『反映している』の割合が高く、年齢別では、50 歳代、60 歳代で『反映している』の割合が、他と比較してやや高くなっています。一方、30 歳代では「あまり反映していない」と「まったく反映していない」を合わせた『反映していない』が40.0%と他と比較して高くなっています。



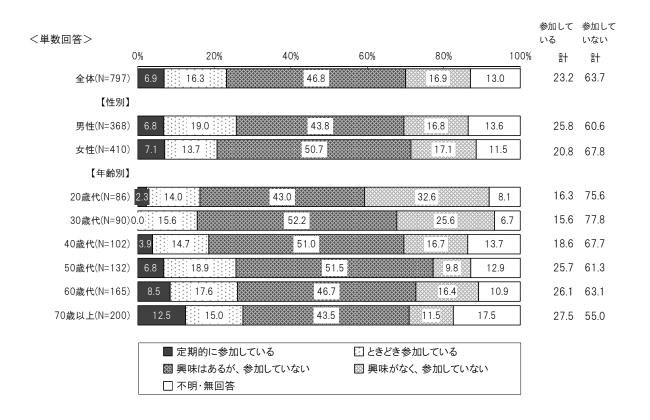
時系列推移をみると、『反映している』の割合は、前回調査と比較して差はないが、『反映 していない』の割合は 10.4 ポイント低くなっています。



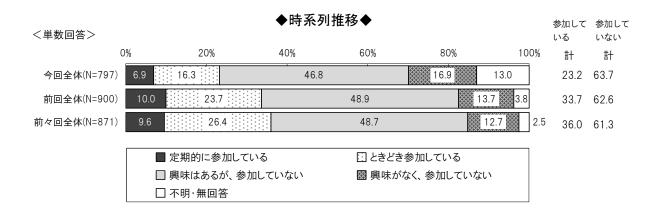
問 20 ボランティア活動に参加していますか。(1つに〇)

ボランティア活動への参加状況についてみると、「定期的に参加している」が 6.9%、「ときどき参加している」が 16.3%と合わせて 23.2%が『参加している』と回答しています。一方、「興味はあるが、参加していない」が 46.8%、「興味がなく、参加していない」が 16.9%と合わせて 63.7%が『参加していない』と回答しており、『参加している』を大きく上回っています。

性別では、男性は女性と比較して『参加している』の割合が高く、年齢別では、年齢が上がるほど『参加している』の割合が高くなる傾向がみられます。一方、30歳代では「定期的に参加している」が 0.0%と他と比較して低くなっています。

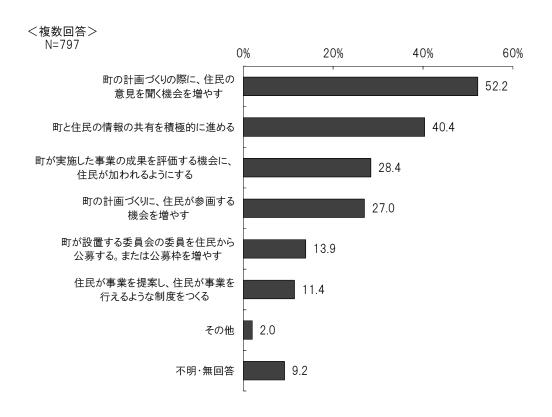


時系列推移をみると、『参加している』が前回調査と比較して10.5%低くなっています。

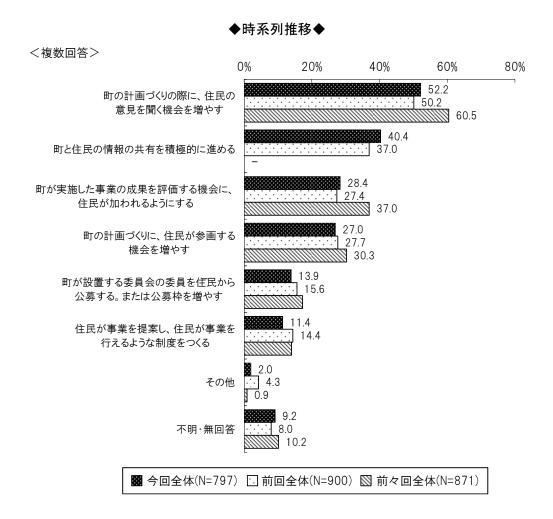


問 21 住民の意見をもっと反映するために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(<u>主なもの2つに〇</u>)

住民の意見を反映するために力を入れることについてみると、「町の計画づくりの際に、住民の意見を聞く機会を増やす」が52.2%と最も高く、次いで「町と住民の情報の共有を積極的に進める」が40.4%、「町が実施した事業の成果を評価する機会に、住民が加われるようにする」が28.4%となっています。



時系列推移をみると、「町の計画づくりの際に、住民の意見を聞く機会を増やす」「町と住 民の情報の共有を積極的に進める」の割合が、前回調査と比較して高くなっています。



注:「町と住民の情報の共有を積極的に進める」は前々回調査では設定無し。

小学校区別、性別では、「町の計画づくりの際に、住民の意見を聞く機会を増やす」が最も高く、次いで「町と住民の情報の共有を積極的に進める」となっています。

年齢別では、40歳代で「町と住民の情報の共有を積極的に進める」、それ以外では「町の計画づくりの際に、住民の意見を聞く機会を増やす」が最も高くなっています。また、20歳代では「住民が事業を提案し、住民が事業を行えるような制度をつくる」が他と比較してやや高くなっています。

単位:%

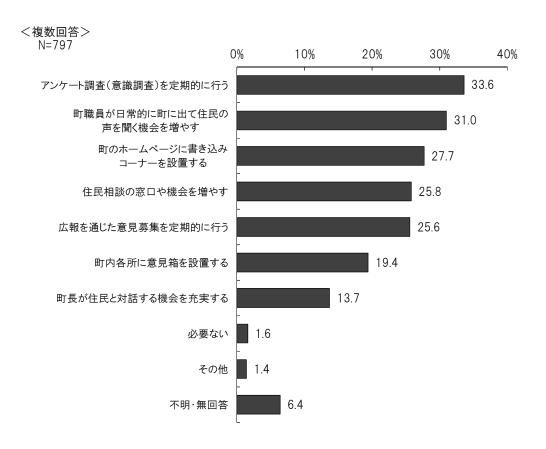
		を聞く機会を増やすの計画づくりの際に、住民の意見	進める町と住民の情報の共有を積極的に	機会に、住民が加われるようにする町が実施した事業の成果を評価する	機会を増やす	公募する。または公募枠を増やす町が設置する委員会の委員を住民から	行えるような制度をつくる住民が事業を提案し、住民が事業を	その他	不明・無回答
全体(N=797)		52.2	40.4	28.4	27.0	13.9	11.4	2.0	9.2
小	芦屋小学校区 (N=254)	49.6	41.3	29.1	25.6	15.7	11.4	3.1	8.7
小学校区別	芦屋東小学校区 (N=185)	51.4	35.7	27.0	22.2	9.7	12.4	1.6	14.6
別	山鹿小学校区 (N=321)	55.5	42.4	28.7	29.3	16.2	10.6	1.6	6.5
性別	男性(N=368)	52.2	38.3	30.2	24.7	12.8	13.6	2.2	9.0
別	女性(N=410)	51.7	42.4	26.6	28.3	15.4	9.3	2.0	9.8
	20 歳代(N=86)	60.5	45.3	20.9	24.4	15.1	22.1	1.2	2.3
	30 歳代(N=90)	47.8	46.7	33.3	24.4	11.1	14.4	6.7	3.3
年齢別	40 歳代(N=102)	45.1	46.1	29.4	26.5	16.7	9.8	2.9	6.9
別	50 歳代(N=132)	51.5	46.2	30.3	23.5	17.4	9.8	1.5	6.8
	60 歳代(N=165)	57.6	37.0	32.7	23.0	13.9	8.5	1.8	9.1
	70 歳以上(N=200)	50.0	32.0	23.5	32.5	12.0	9.0	0.5	18.5

◆「その他」の内訳◆

- ・反映しようとする気持ちをもつ
- ・住民の意識
- ・議員の若返り。大学の研究機関をモデル地区として利用してもらう
- ・アンケートの実施
- ・若い世代は働いたり忙しいので、意見を聞く時間をつくるのは難しい。会社員、農業、漁業に政策者が調査に出向くべき。役職者に聞くのみではなく、働く者すべてに
- ・住民が競争して一坪花壇等で道路の美化をする補助など
- ・若い議員を増やす。議員の定年を定めるべき

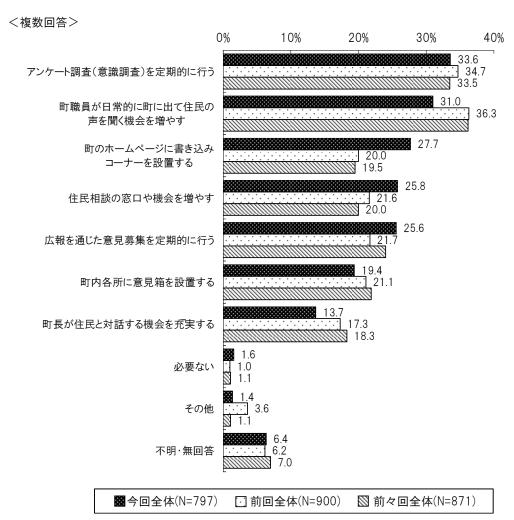
問 22 まちづくりを行う際、住民の意見を集めるために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(<u>主なもの2つに〇</u>)

住民の意見を集めるために力を入れるべきことについてみると、「アンケート調査(意識調査)を定期的に行う」が33.6%と最も高く、次いで「町職員が日常的に町に出て住民の声を聞く機会を増やす」が31.0%、「町のホームページに書き込みコーナーを設置する」が27.7%となっています。



時系列推移をみると、「町のホームページに書き込みコーナーを設置する」「住民相談の窓口や機会を増やす」「広報を通じた意見募集を定期的に行う」の割合が、前回調査と比較して高くなっています。

◆時系列推移◆



小学校区別では、芦屋東小学校区で「町職員が日常的に町に出て住民の声を聞く機会を増やす」、それ以外では「アンケート調査(意識調査)を定期的に行う」が高く、性別では、男性で「アンケート調査(意識調査)を定期的に行う」、女性では「町職員が日常的に町に出て住民の声を聞く機会を増やす」が高くなっています。

年齢別では、20歳代から40歳代で「町のホームページに書き込みコーナーを設置する」、50歳代、60歳代では「アンケート調査(意識調査)を定期的に行う」、70歳以上では「町職員が日常的に町に出て住民の声を聞く機会を増やす」が高くなっています。また、60歳代では「住民相談の窓口や機会を増やす」が他と比較してやや高くなっています。

単位:%

		定期的に行う	住民の声を聞く機会を増やす町職員が日常的に町に出て	コーナーを設置する町のホームページに書き込み	増やす 住民相談の窓口や機会を	定期的に行う 広報を通じた意見募集を	町内各所に意見箱を設置する	機会を充実する町長が住民と対話する	必要ない	その他	不明・無回答
全体	(N=797)	33.6	31.0	27.7	25.8	25.6	19.4	13.7	1.6	1.4	6.4
小	芦屋小学校区 (N=254)	33.5	30.7	28.3	24.8	23.6	21.3	14.2	3.1	1.6	6.7
小学校区別	芦屋東小学校区 (N=185)	30.8	33.0	23.8	26.5	22.2	19.5	15.1	1.1	1.1	8.6
別	山鹿小学校区 (N=321)	35.5	30.2	29.3	26.5	28.3	18.7	11.8	0.9	1.6	4.7
性別	男性(N=368)	36.1	31.3	28.0	23.6	25.3	17.7	14.7	2.2	1.4	6.0
別	女性(N=410)	31.0	31.2	27.3	27.1	25.4	21.7	12.7	1.2	1.5	6.8
	20 歳代(N=86)	31.4	29.1	41.9	17.4	24.4	20.9	16.3	5.8	0.0	1.2
	30 歳代(N=90)	35.6	23.3	42.2	24.4	22.2	21.1	14.4	1.1	2.2	1.1
年	40 歳代(N=102)	32.4	31.4	35.3	21.6	20.6	24.5	10.8	0.0	2.0	7.8
年齢別	50 歳代(N=132)	36.4	31.8	34.8	25.8	28.0	16.7	12.1	1.5	3.0	1.5
	60 歳代(N=165)	37.6	31.5	19.4	30.9	26.7	17.0	13.3	0.6	0.6	7.9
	70 歳以上(N=200)	29.0	35.0	13.0	27.0	26.0	20.5	15.0	2.0	0.5	12.5

◆「その他」の内訳◆

- ・隣ぽ班の崩壊をどう防いでいくか
- バーベキューなどを開く

5. 自由回答

最後に、芦屋町のまちづくりについて、ご意見等ご自由にお書きください。

芦屋町のまちづくりについての意見等について、自由記述(フリーアンサー)形式によって尋ねたところ、次のように回答を得ました。

20歳代<30件>

町外に住む友人は芦屋といえば花火大会、というイメージを持っています。若い世代が芦屋に集まる一大イベントなので花火大会はぜひ続けてほしいです。また、芦屋の商店街をもっと充実させればもう少し訪問客が増えると思います。あの道を通ってもほぼシャッターが閉まっていて寂しいです。

中学生以来に中央公民館に行ったところ図書館がかなり充実していました。

1. まず役場職員の髪の毛を黒色に染めたほうが良い!だらしない! 2. 役場職員の皆さんに元気が感じられない、挨拶が棒読み! 3. 町の新メニュー企画! (デザートお持ち帰り用) 4. 芦屋町やボートレースのプラン入りツアー企画宿は国民宿の流れ 5. 道の電気点灯 6. お金をかけない若者と高齢者の交流イベント 7. お酒のイベントをしている上で芦屋のブランドお酒企画。

海水浴場に若い人達を呼べるようにダイナーやライブスポットを作り常時ライブ演奏を行う。昔の 海の家をおしゃれな店にして観客に楽しんでもらう。

田んぼ道の交差点に一時停止の標識を付けてほしい。標識がある所とない所があるので。

中途半端なゆるキャラを作るなら作らないほうがいいし、それに税金を使わないでほしい。人形なども人気が出て作ればいいし、ゆるキャラを作る前に住民にアンケートをとって作れば良かった。必要性が感じられない。外から人を芦屋に呼ばないといけないので、若い人たちに意見を求め実行するといいと思う。

大きなショッピングモールなどあると、もっと芦屋町が活性化すると思います。また、他の市役所等は、月に2、3回は夜遅くまで窓口が開いていたりするのに、5時過ぎに帰って来ても間に合わなかったりするので、とても不便です。まちづくりを重視するのであれば、役場のあり方からまず考えるほうがいいと思います。買い物なども他のところに行かないといけないので、不便さを感じています。意見を取り入れて、芦屋町をもっともっと大人も子どもも住み続けたいような町にしてもらいたいです。

今のところ非常に住みやすい。もっと観光 PR やイベントに力を入れて、交流や活気があるまちになるように取り組んでほしい。楽しみです。

夜間の市営バスの運行を増やしてほしいです。寒い中で20分位待つのがつらいです。特に20時以降は1時間に3回位折尾発のバスがほしいです。

子どもの通学路などに草が茂って通れなくなっているので気になります。赤ちゃんが生まれてお祝いの金券をいただきましたが、赤ちゃんのために使えるお店が少なくて困っています。

観光スポットを増やし、イベントを充実させ PR も必要だと思いますが、町外の人たちが大勢来ても町内の人がイベントなどを楽しめないのは意味がないと思います。観光推進は大切かもしれませんが、芦屋町をキレイに花を増やし、古びた建物は新しい家を建てて、若い人を増やす。そうすると自然に町は活気づくのではないでしょうか。

粟屋に住んでいるが、小中高大と常に通学に不便を感じてきた。芦屋町に駅をつくれとは言わないが、折尾駅、遠賀川駅、海老津駅への交通手段を増やすべきである。人が少ないのでバスが赤字で、本数を増やさないなら、コミュニティバスに年齢制限なく乗れるようにしてほしい。また、タクシーを安く利用できるなどの対応を求める。

芦屋タウンバスの本数を増やしてほしい。可能であれば、大城地区も運行していただけると嬉しいです。

20歳代<30件>続き

交通の便が悪すぎる。小中学校の教育方針がまったくわからない。勉強、体力づくりで心を育てればいいのに、わざわざ授業を中断して話をするのはおかしい。改善してください。

福祉的な面から考えると、芦屋町は高齢者の割合が高いので、川の氾濫などによる災害になったときに必ず助けることができなければならないと思います。アンケートにあったように近所付き合いを深めておくことで、お互いが意識し合って声かけなどをすることができると思いました。

総合体育館にスミスマシーンを置いてほしい。トレーニングルームをもっと良くしてほしい。

雨量が多く、川の水位が上昇しているときに起こることですが、トイレの水が流れなくなったり、マンホールから水が溢れたりすることがあります。改善できればと思います。より良い芦屋町になるよう、みんなで努力し、少しずつでも良い方向へと向かっていければと思います。さらなる芦屋町の発展に期待しています。

海や砂像展、花火大会、芦屋釜の里など芦屋町には素敵な観光地やイベントがたくさんあると思うので、もっとたくさん人を呼び込めるようにインフラ整備などに力を入れてほしいです。町民、皆で力を合わせて芦屋町を良い町にしましょう。

数年後、芦屋で家を建てたいので、土地の確保や居住のメリット等を増やしてほしい。

長年住んでいますが、芦屋町がどのような事に取り組んできたのかほとんど知りません(そのため、アンケートは「わからない」ばかりになりました)。休みの日は必ずと言ってよいほど町外に出かけます。もう少し芦屋町に興味を持てるような活動を期待しています。

芦屋町の役場の方だけでなく、住民の人たちを含めて今後の芦屋町を繁栄させていくために何をしていくべきか、意見を出したり、それを企画、運営できる組織をつくるべきだと思います。町民の中にも芦屋町を良くしたいと熱い気持ちをもつ人たちはたくさんいると思いますが、彼らが意見を述べる場が必要です。芦屋町は現在若い世代が減少していることが問題の一つであると思いますが、それを解決するために若い人向けのイベントや場をつくって、これからは年配の方だけでなく、年配の方と若者が共に助け合って住める町にすべきだと考えます。若い人たちが芦屋町に住みたいと思うように、もっとアグレッシブになるべきだと思います。過疎→過密地域のモデルになる町にしたいです。意見を主張して少しでも反映されるのやら…と思います。すでに良いところもたくさんあるので、それについてはこのままで、今、改善できる点に対して少しでも取り組みをはじめてほしいです。それから、芦屋ボートですが、賭け事に対して良いイメージを持てない人が多いと思います。しかし、芦屋町には絶対に必要なものなので、ボートのターゲティングを変えて家族でも楽しめるレベルのクリーンなイメージにしてほしいです。

住民の意見をまったく聞こうとしない(いろいろな手段で伝えても)この町は変わることはないでしょう。トップが代わりゼロから住民のためのまちづくりをもっとまじめに考えていくべきです。 仕方がないから住み続けています。そんなに簡単に家って何軒も建てられないですよ。こんなアンケート何の意味がありますか? 町民の意見にもっと耳を傾けてもらいたいです。

今まで町内でしていることのアンケートや調査だけするのではなく、したいと思うことのアンケート調査募集をするべきでは。例えば、公園をきれいにしていっているのであれば、その周辺にキャンプができるようにするとか、せっかく海等があるのに、またマリンテラスに風呂もあり入りに来られるのに、もっと他方面でいかせるように考えては。

引っ越してきた家族などに住んで一年ぐらいした頃にアンケートをしたらどうでしょうか。以前住んでいた町の良いところを芦屋で活かせるか。足りないところはどこかなど。

生まれてずっと芦屋で交通手段が車しかない。25年以上ガタガタのままの道がある。狭くて車があまり通らないと思っているかもしれませんが、狭いからこそきれいに工事しなおしてほしいです。 町のすべてをみて確認してほしいです。

町内にもっといろんなお店があると嬉しく思います。宗像市のように人のたくさん集まる道の駅やカフェなど、もっと芦屋町の素晴らしいところを引き出してほしいです。芦屋町も夏井ヶ浜は本当にきれいで他の海の町や市に負けてないです。子育て支援も任意ワクチンの免除など、お金がかかるので諦めてしまう方を少しでも減らしてほしいです。子どもたちが安心して楽しく暮らせる町になりますようにお願いいたします。

バスの本数をもっと増やしてほしいです(特に休日)。

20歳代<30件>続き

スーパーはまゆうから中学校前のイチョウの木を切ってほしい。歩道が狭い。道路に出るとき木が 邪魔で車がよく見えない。歩道の雑草がはえすぎ。役場の周りはきれい。

商工会の商品券が使えるお店の地図をつくってくださると助かります。

交通の便が悪いため、本数、路線を増やす等対策してほしい。特に近隣の駅へ行く際、バスを使うとかなり時間がかかってしまう。

30歳代<31件>

公園ばかりつくりすぎているように感じる。

バイクの音がうるさすぎる。パトロールしてほしい。もっと大きなスーパーがほしい。バスの本数が少なすぎる。ごみ拾いはとってもステキだと思います!!!

今後ますます高齢者が増え、若者が町から出て行くようになると思うので、町の中での雇用を増やす努力をすべきだと思う。また、夏のイベント(海、花火、砂像 etc)を積極的に宣伝したほうが良い

町外からの人が集まるような、イベント開催、独創的なイベント

アンケートをするところがすでに古い。もっと新しいアイデアを出せる職場づくりを。アンケートに答えるのは年寄り。メインの年代は面倒くさがる。

30 代後半の独身女性です。婚活パーティーや 20 代から 40 代くらいの方々の出会いの場をたくさん つくってほしいです。高齢者にはサロンなどありますが、若者にはない気がします。若者が安心して地元で結婚して、子育てができるようにしてほしいです。 3 月に中央病院が移転します。現在、中央病院から歩いて 5~6 分のところに住んでいますが、病院移転後、その跡地がどうなるか気になっています。我が家は車がなく、買い物に不便です。はまゆうではすべてが揃わず、高いばかりです。ルミエールやトライアル、イオンやハローデイのような店や、コンビニがあると大変便利でありがたいので、そういうお店をぜひ芦屋町に出店させてください。お願いします。

私が小学生の時に比べ、今の小学生はすれ違うときにきちんとあいさつするので気持ちがいいです。

街灯の増設。ごみステーションの美化。総合体育館の不法投棄対策。

海外の人も住みやすい町にしてほしい。

町外で勤務しています。芦屋町といえばと人に尋ねると、自衛隊とボートしか出てきません。とても残念です。観光資源はたくさんありますが、活かしきれていません。せっかくきれいな海があります。もっと海辺の活用ができないものか…。

月に1回でも良いので、平日に窓口を延長して開けてほしい。平日のイベントは働いていると参加できないことが**多**い。

夜帰宅するときに感じることは、北九州地区は街灯が明々とついていて安心。道路や歩道に街灯が つくといいなと思います。

西鉄バスグループの復活をお願いします。

魅力あるまちづくり(若者が住みたくなる)を実施してください。

自衛隊があるため、近くに頼れる人がいない家庭も多いと思うので、そんな人たちが安心して仕事ができるように病児保育が町内にあるといいなと思います。小学校も校舎が古いにもかかわらず、児童が少なくなっているからとはいえ、建て替えしないという噂を聞いて不安を感じています。アクアシアンが始まると海浜公園も有料になるのが不満です。公園でご飯を食べようとすると、とんびが狙ってきます。何か対策してもらえると使用する機会が増えます。よろしくお願いします。

少子化…特に芦屋町は…と思うなら、もう少し勉強してほしい。子どもが3人いますが、芦屋町の頑張りが全く伝わってこない。住みやすい地域というのは、公園がある、安いスーパーがある、ドラッグストアがある、飲食店がある、ホームセンターがある、水道代、ガス、電気が安い、土地、家賃が安いことだと思う。インフルエンザのワクチンを1,000円にしてください。子どもが3人います。1回3500円、2回で7000円。3人で21000円です。命を守るためとは思っていますが、他の地域のほうが安いです。

30歳代<31件>続き

遠賀駅と結ぶ電車がほしい。トライアル、ルミエールみたいな大きなお店がほしい。ダイソーみたいな 100 円ショップがほしい。

芦屋釜の里について。以前は受付で入場料、お茶代を支払っていたが、現在、お茶代は立札席で支払っている。おかしいのではないか。入場料を支払う際、受付は何も言わず、こちらが金額を聞かないと答えない。とても感じが悪く、最悪な気分になった。茶室で話し声はヒソヒソと聞こえているのに、誰も出てこない。声をかけても出てこない。以上のことから、県外の方を連れて行った際に芦屋町の誇れる芦屋釜を伝えることができず、また嫌な思いまでさせてしまった。何のために芦屋釜の里を運営しているのでしょうか。指導力不足の一言で片づけないでほしい。このアンケートをぜひとも活かしてもらいたい。

町に活気がなく高齢化しているので、住んでいても面白味がない。北九州市が環境について積極的に取り組んでいるように、もっと行政が積極的に動くべきだと思う。そうでないと、町に定着する人が少なくなってしまうと思う。

HP や SNS などのインターネットを活用すべきと思う。まず HP の情報が古かったり、アクセスに時間がかかる(ページが重い)と若い人は町に関心をもたない。ローカルなものだけでなく、他の町を参考にするほうが良い。正直、芦屋町がどのようなビジョンでまちづくりをするつもりなのかわからない。それを各家庭に伝えることが重要と思う。

就労のため産業が硬直化しているために人口が伸びず、かつ交通の便のために住宅地としての伸び も見込めない中でのまちづくりは大変だと思います。

保育所の一時預かりが1ヶ所しかない。その1ヶ所に一時預かりを断られたときすごく大変。もっと一時預かりの保育所を増やしてほしい。よく他の地域のママ友(宗像の方)と話をすると、芦屋が子育て支援にもっと力を入れてほしいなと感じる。風疹の助成金がない。この頃、さわらサミットや砂像などのイベントがあるので、楽しめることは良いなと感じる。

下校してから遊ぶとなれば家しかないので、子どもたちが自由に遊んだり勉強できたりする児童館などがあれば嬉しいです。街灯が少ない。特に冬はすぐ暗くなるので、もうちょっと明るくなればいいのになぁと思います。

山ぶどうの木をかえてほしい。服が汚れたりします。

防犯カメラ、防犯街灯の設置。

住宅 (一戸建て) ばかりを増やすのではなく、町営住宅をきれいにしたり、工事したりしてほしい。 平屋の町営住宅などもつくってほしい。田川郡の町営住宅を見習え!何もしてくれないのに、出て 行くときの退去金が高すぎて割に会わない。

粟屋のほうに住んでおり、持病を抱えているので、病院やスーパー等までの距離が遠く不安を感じています。飛行訓練、特に航空祭前の騒音に悩んでいる方も多いと思われます。防音工事をしていても、あまり音がおだやかになったと思えません。飛行コースの真下の地域だけでも、何らかの配慮の必要性を感じます。体調がつらいときの騒音は心底悲しく、ストレスになります。

祇園橋から御牧大橋までの川沿いに自転車も通れる歩道をつくってほしい。自転車通学の学生が自動車とすれ違い危ない。

花美坂と山鹿地区のみしか開設されていない J:COM と BBIQ を芦屋町全域で開通されるように促してほしい。公式サイトで各ページばらばらになっている PDF 版「広報あしや」について、全ページー括ダウンロードできるようにしてほしい。現在の芦屋中央病院バス停から新芦屋中央病院への芦屋タウンバスによる新たな路線を開通してほしい。

ブランド野菜のようなものがあれば面白いかもしれません。

総合体育館を22時まで借りているのに、警備員さんの都合なのか21:45には体育館を出ないといけなくなった。22時まで借りているのにどうしてなのかと思う。前はそんなことはなかった。

40 歳代<28 件>

人口減少が続いているが、どのように把握しているのか、今後の見通し、町としての施策など知りたい。

もっと街灯を付けて。温水プールを作って。若松市民プールみたいに安く使える。アクアシアンは 夏だけで子どもや家族向けで高齢者の健康(運動)する場所。

芦屋のひとり親で、子どもの大学進学までの費用、センター試験、受験費用、入学金、前期の学費、全部で150万ぐらいかかりました。私はパートで収入が少なく、福銀、西日本沪イ、農協、カード会社に教育ローンを、申し込みましたが全部ダメでした。芦屋町の空き店舗でお店を開くのに200万まで補助金が出ると聞いています。町外から定住支援など、いろいろ補助金がありますが、芦屋で生まれ、芦屋で育った住人も大切にしてほしいです。銀行が提携して、低所得者に貸してくれるなど、考えてください。私みたいな人は、たくさんいると思います。高校、大学進学で悩んでいるひとり親家族のために何か考えてもらうと嬉しいです。

もっと芦屋まちを観光地としてアピールしていくやり方があるのでは。他の町村の人でも利用できる施設等。

アンケート調査を形骸化するのではなく、町長は本気でまちづくりに取り組んでほしい。

交通の便が不自由。利用者が少なくなったのも確かだが、もう少し利用しやすいようにしてほしい。 商店街が寂しすぎます。もう少しいろんなお店があると利用できて人も集まり、今、以上に便利に なると思います。

漁業、農業への支援を継続。ただし、商工会は補助金優先で向上心が薄い気がする。町内に公園が多すぎると思う。花火、砂像は住民に反映されず、収入源になっていない。町民から花火費用を捻出するのは筋違い。農産物、魚などが豊かなため、道の駅のような店を早急に設置してほしい。

中央公園、海浜公園の整備のように各地区の公園も子ども向けの遊具、大人向けの健康器具(海浜公園のような器具)を充実させてほしい。有料でいいので、アスレチックを復活させてほしい。サンリーアイをもっと参考にして、町営ジムも充実させてほしい。老人が増えている現状をふまえ、管理人等に採用してはどうか。小学校と老人の交流を積極的に増やしてみてはどうか。

街路樹の定期的な剪定など、管理を強化してほしい。葉だけでなく花や実も落ちて汚いです。

町民に知らせる前に事業を実施して、広報にはもう昔からあります、みたいにいうのは変だと思いました。海岸の鐘とか海浜公園とか「あしやんいか」はもうどこで食べられるのかさっぱりわからない。まず町民が知っているべき情報が発信されていないと思う。「カヌー」から芦中までの道は、朝(登校中だけでも)は通行止めにしてほしい。

このようなアンケート調査をする場合、年齢だけでわけるのではなく、世帯や個人の特徴も考慮した上で実施したほうが、より具体的で実践的な意見が集まるのではないか。子どものいない世帯、 老人のいない世帯にとっては困る質問もある。

芦屋には JR の駅がないので、とても不便です。どうにかならないのでしょうか。駅があればもっと 人口が増えると思いますが。

野良猫が多すぎる。フンをあちこちにして不衛生。

公共交通が不便すぎる。子どもの通学にさえ不便。

山鹿地区のため、買い物をする場所は車で行けば利便性があるが、交通の便を考えると定住したい人を呼ぶには無理がある町と思います。車を持っている人を週末に呼び込めれば税収入も見込めるのではないか。リラックスできるインスタ映えするカフェやプラネタリウムやスパなど、若い女性客を呼ぶことのできる施設を増やすとか、子どもをもっている人の新居を優遇するなどしないと、住民は少なくなる方向へ向かうと思います。

商店街の充実を望みます。今のままではさびれた感じで悲しいです。もっといろんな人が訪れる場所であってほしいです。

子育て中です。子どものために何かしたいのですが、やり方がわかりません。新しいことにチャレンジしたいのですが、町に閉塞感があり、できません。

40歳代<28件>続き

せっかくの自然のある環境がもったいない状態になっていると思う。子育て(学習面も遊ぶことでも)のしやすい町になってほしい。長く住んでもらえるために、交通機関の充実も必要なのではないかと思う。

基本的に住民の声はフィードバックされていないと思う。中央公園改修工事の件がその典型。ベンチの数が少ない、夏の暑さや雨をしのげる場所がないなど、住民の思い描くリニューアルと行政及び業者のそれがまったく一致していない。正直このアンケートも書きっぱなしで終わるんじゃないかという諦観の念しかない。

家族の成長とともに参加したいと思っても難しいときも出てきます。自治区の働きもどうしても参加できないときもある。いつも必ずみんなができる、やらねばという考え方を押し付けられると自治会もやめたくなる。助け合いは大切。私もそのことは十分わかっているが、バスも少なく駅までの子どもの送り迎え、自分の仕事、自ら選んで行っていることだが、それ以上のことを求められると、ご近所もわずらわしく思うこともある。田舎だからかとも思うが、バスの少なさに10年前よりも住みにくさを感じます。これ以上、少なくなると本当に困る。なんとかしてもらいたい。

もっとよその人が興味を示す行事を増やす。パワースポット的なところをつくる。おしゃれな若者から高齢者などが美味しく食べられる宿泊施設をつくってほしい。町民はお得的な。

花火大会の前に草刈りをしていただいていますが、町内の他の部分も見て回ってほしいです。大君 県営団地4棟の裏の山と道路の境目、野球場も道路から見えなくなるぐらいに草が伸びています。 以前は町のほうで刈ってくれていました。防犯のためにも草刈りをお願いします。

地域おこし協力隊の活動に興味をもっているが、フェイスブック、インスタ等していないのでまったくわからない。コーヒーを飲みに行って話をしようと思ったが、忙しそうで何もうかがえなかった。芦屋は糸島や福津と同じすばらしい地域だと思います。活かし方が足りないのか、のびしろはたくさんあると思います。自衛隊さんなど遠くから来られた方も「いいところなのにもったいない」とおっしゃっています。地元で育って都会に移り住まず、芦屋に定住している人が多いのは、芦屋がいいところだという証だと思います。芦屋を愛し、親孝行な大人に育っているのだから、今までの町の取り組みは間違っていないのだと思います。

スーパーをどうにかしてほしい。

生まれ育った芦屋町が大好きです。自然も豊かで町外の人に自慢の町です。しかし、働きはじめてからは、正直町の恩恵を受けることはなく、唯一の情報は広報あしやで得るぐらいで、町との関係は皆無です。ほぼ、町外の人と同じような状況。日中町で過ごすお子さんや、年配の方が中心でしょうが、もっと住民全体で密着できるようなまちづくりをめざしてほしいです。

イベントを減らしても良いのでは?

私には小学生の子どもが二人いますが、学童には行っておりません。そうすると夏休みをはじめ冬休み、春休みと日中出かける場所がなく、北九州市の児童館にお世話になったりしています。そこでは様々な子ども向けのイベントがあります。ぜひ、子ども向けのイベントを増やしてほしいです。また、日頃から広報紙などの配布プリントにカラーページがたくさんあり、お金がかかっているなと思います。その予算を子ども教育にあてていただけるとありがたいです。

50歳代<45件>

敬老会の粗品を良くして欲しい。

他の市町村にはない豊かな自然を有効に活用すべき。茶釜により茶道をされている全国の方は芦屋を認知している。その事から幼児期より茶道を必修課目として、芦屋っ子に学ばせる機会を与えてみては?芦屋の子ども達は茶道の心得を皆体験している(所作や人をもてなす心)。

税金は大切に使ってほしいです。

芦屋町繁栄の為に御尽力下さり、ありがとうございます。

50歳代<45件>続き

以前に住んでいた所は、各家庭に防災無線が設置されており、高齢者の方や、子どもが迷子になった情報、火災がどの場所なのかという情報がすぐにわかった。現在の芦屋町は、火災の場合、サイレンはなっているものの場所の特定ができない。もし自分の家の近くで発生してると思うと不安でたまらないし、高齢者、子どもはとっさに判断ができないと思う。もう少し他の地方自治体を参考にして町づくりをしてほしい。

子どもたちが安心、安全に住める町であってほしいです。行政と町民がわが町芦屋のためにできること、やれることを自由にできる町にしてほしい。魅力があるまちづくりを目標にして、将来人口が少しでも増えるようになってほしいです。町(行政)議会、町民が常に良い意見交換ができるような柔軟化を希望します。

当町は多少都市化が進んでいるので、地域の交流がなく、何か生じると問題がわかると思う。最初に自分で身の周りから片づけること。例えば、犬のフン等でも注意する人がいない。それと都市並みの家賃の高さ。それを考えると少しは人の活性化が生まれると思う。

私は芦屋町が好きです。ずっと住み続けたいと思う人がもっと増えるよう、これからもお仕事頑張ってください。いつもお疲れ様です。

60歳から乗れる福祉バスを楽しみにしています。

カレンダーは必要ないと思います。

現状維持。少しのプラスで良いと思う。

全国的に高齢者は増えています。若者が仕事できる企業を誘致することも重要ですが、お年寄りの 介護施設を誘致することも重要かと思います。若者は町外に就職し、そこで生計を立てるため町内 に戻ることはほとんどないのでは。

側溝に雑草が生い茂っています。安全上の問題もあると思うので、処理してほしい。芦屋地区ばかりでなく山鹿地区にも目を向けてください。

特別支援や通級、障がい者等、弱者を切り捨てる教育はよくないので、もっと町で働ける場所を提供してあげるべきだと思う。

芦屋の子は芦屋の人間が育てていくと聞きますが、まずここから問題です。広き目、心で成長を促していくこと、一人より多くの知恵でこの町を共有しては?

取り組んだことが成果を上げたり、芦屋町にしかないPRポイントを大々的にアピールすれば、若い人たちが魅力のある町として集まってくると思う(芦屋町民になりたいと思う)。芦屋町民であることのお得感を住民が感じることができたら、子どもからお年寄りまで元気で明るい町になると思う。

特徴のある観光アピールをすることにより、地域活性化につながる。

町外に居住する町職員が多く、災害時の対応に不満がある。シーズン中の海浜駐車場の有料反対。

高齢者の方、障がい者の方がより安全に快適に住む町にしていただきたいです。この世の中、思いやりという気持ちがまったくない。一人ひとりが思いやりの気持ちをもつ環境にして町と住民の話し合いを徹底するべきだと思う。それから、病気などリスクを負っている方への援助、負担の軽減。よく考えていただきたいです。働けなくなるリスクというものもあるので、支援、援助が大切だと思います。それだけは、お願いします。

現代的なことは有効だと思うが、高齢者では扱い方のわからない(慣れていない)方もいると思うので、生の声が届くような心配りがあっても良いと考える。体力的に自力で移動できなくなっても、なるべく自宅で自立した生活をするためにも、若いうちに情報を集めて勉強することの大切さを感じるので、そのような機会がたくさんあるとありがたいです。これからもずっと住み続けるために、それぞれの立場で努力が必要でしょう。

正門通りが今やシャッター通りと化しているようで、とても寂しい。シャッター通りの活性化を期待する。

アンケートの内容が私のように子育てを終えた者にとって小学校等の教育的な質問をされても答えられない。もう少し内容を考えてほしい。

いろんなイベントに行っても参加する人、しない人が出てきます。外見をよくしても中身がよくなければ、まちづくりは良くなりません。

50歳代<45件>続き

高齢者が多く、さらに増えていく。公共交通機関は少なく、交通事故の問題もあり、免許返上など 高齢者が生活しにくくなっていく。商業施設を誘致して、店舗ができてもそこに買い物に行くこと が大変。今後は、固定の店舗よりも移動販売車など高齢者が生活しやすくなるもの(方法)を積極 的に取り入れていってほしい。

校区によって子どもたちの質の違いを感じる。質の差をなくす方法を考えるべきではないでしょうか。

アンケートは良いと思いますが、もっと町の中を職員の方が見てほしいです。

町の中心となる正門町通りの活性化、町外から来る人などの為の駐車スペースの設置。砂像展のときに役場前でバスを降り迷われている町外の方を何回か見かけました。歩くにはご高齢だったので車で送りました。便は少なくても会場までのバスを希望します。

議会の若返りも含めて、若者層の意見がもっと取り入れられる仕組みが必要です。大胆な改革が実行できる人材が必要です。若者にアピールできる魅力がないと町は活性しません。もっと他地域で成功している事例を参考に、横のつながりをもっと活用するなど早急な対策が必要です。

脇道から本道路に出る際、歩道に植樹してある木の枝等が伸びて視界を遮り、車や自転車の往来が 見えないので危険なときがある。もう少し植える場所や剪定のことを考慮してほしい。

公共のものが私有と化しています。城山公園の駐車場はいつからヨットハーバーと近隣住民のものになっているのですか。他にも車道や歩道を自らの駐車場にしている店があります。児童の通学路を妨げています。なあなあで収めないで処分してください。

芦屋に来て6年になりますが、近所の人たちがとても話しやすく、住みやすいところです。コンビニ、病院、スーパーもあるので、歩いて行けるところに来て最高です。ありがとうの気持ちです。 感謝しています。

町会議員に年寄りが多く、保身ばかり考えて町民のための政策を行っていない。 もっと拡がりのある町政を行ってほしい

広報あしやの芦屋歴史紀行は素晴らしいですね。芦屋の歴史がよくわかります。ただ、これを芦屋町だけにとどめておくのはもったいない気がします。特に「山鹿秀遠」のことは、詳しい資料をNHKに送ってみたらいかがでしょう。もし、番組で取り上げてもらえたら、それが大河ドラマになったら、と夢が広がりますよね。

勢いのある近隣の自治体等の取り組みを参考にしながら、既存の枠にとらわれない柔軟な発想を もって活力あるまちづくりを推進してほしい。一部に利益誘導的な施策はダメ。芦屋町の売りは海 と魚だと考えられるので、それを基盤とした上手な地域活性化が図れれば良いと思う。

行事等たくさんあり、まちづくりにとても力を入れていらっしゃると思います。楽しませてもらっています。この意識調査を記入するにあたって、もっと芦屋町のことを知りたいと思いました(わからないこともたくさんあったので)。芦屋町のことを考える良い機会となりました。ありがとうございました。

歴史もあり、自然もあり…といい町なのに町内外の人に良さを伝えられなくて、活性化されていないのではと思います。住んでいて楽しいと思える町、行ってみたいと思われるような町になるといいなと思います。

車及び人の交通マナーが悪化しているため、警察に協力を依頼しマナーの向上を図る必要があると 思います。特に、信号無視、歩道上に駐車している。

他の町のようにコスモスとか花でイベントができないでしょうか。海浜公園に桜を植えて名所にするとかできればいいと思います。ますます魅力がない町になっているように思います。

町の行事に参加している人やボランティアさんなど、決まった人が多いような気がする。いつも参加していただいてありがたいと思いますが、もっといろんな人が参加してほしい気もします。参加することによって芦屋町が身近に感じると思います。新しく参加できるような募集をしては?

50歳代<45件>続き

芦屋には海など自然もあり、歴史もある町だと思うのですが、芦屋というイメージから花火大会、 プールなど他の町に住んでいる人に聞くと、夏のイメージが強いようです。一時的なものではなく、 一年中を通して芦屋町の良いところや素敵なところをアピールできたら、もっと他の町から人も訪 れるのではないかと思います(町の風景など、おしゃれな写真で冊子をつくり、若い女性などに手 に取って興味をもってもらうなど)。

クリーン活動、住民が町を清掃しているのになぜか道路周りや公共の場がとても汚い。何年か前は とてもきれいだった。町で花を植えても周りのごみのほうが目立ってとても気分が悪い。

町民の心身を破壊する覚せい剤をまん延させている暴力団ややくざに対して、怒りをもち怒りを表現して、芦屋町から覚せい剤をなくすように取り組んでもらいたい。

新しい施設のほとんどが山鹿地区。町長が山鹿出身者だからという話は本当なんだろうと不満がある。芦屋ボートは広い駐車場を借りていて、水の権利も手離している。高齢化が進む一方で、空き地も増えるが、芦屋町の土地代は高すぎる。希望がもてるのか心配。

宗像の道の駅のような施設ができると良いと思います。観光客や中距離の地域の人も気軽に立ち寄れて、食事もできる魅力的な施設だと理想的だと思います。

少子高齢化対策(移動コンビニのようなもの)。若者確保(企業誘致)。

60歳代<36件>

昨年中央公園がきれいに整備され、新しく遊具が取り付けられ子ども達も喜んで利用しています。 欲をいえば芝生ばかりではなく花壇も設置してほしいです。また、子どもの意見として(ブランコ) がほしいそうです(学生の意見)。西鉄バスの本数を増やしてほしい。

結果ありきで「住民の意見を聞いた」ことの実績を重ねるためだけに問 22 に記載されていることを 実施されても意味がないと考える。

道路整備を早めにしてくだされば助かります。ある程度草が伸びたら、草刈りをまめにしてほしいです。夕暮れ時(特に冬場)は暗くて、歩きたくてもデコボコがあり転倒しそうで怖いです。早めに修理をお願いします。年々高齢者が増加していくので、標識を見やすくしてほしいです。バス停の時刻表もわかりやすく大文字でお願いします。バス停に座れる椅子がほしいです。

高齢化が進み、区の役員をできる人が少なくなっている現状をふまえ、役員の負担軽減を考え行政 が前面に出てほしい。今までどおりにはいかない。現状を見据えた行政改革が必要と考えます。

設問が多くて答えにくいです。

芦屋コミセンのトレーニングルームを充実 (リニューアル) させてほしい。

若者に自然を大事に残していくことをしてもらいたい。もちろん老人たちの意見を聞く場も。老人、 若者たちで行えることを。 芦屋の素晴らしい自然のために。

芦屋町図書館も水巻町図書館や遠賀町図書館のように充実してもらいたい。今年は例年になく寒い日が続いておりましたので、水道管の凍結や破裂が心配されました。北九州では、そんな日の前日には広報車で注意を呼びかけていました。そういう優しい心づかいの町であってほしいと思っています。

町全体が高齢化社会に突入しているので、ますます一人暮らしの方に対して、グループ訪問の充実を図り、福祉の充実を本気で進めなければ手遅れになります。町政はもっと区加入に対して強気で推し進めなければ、災害時等、区としても対応できない方々が増えて困惑している。例えば、町営住宅に入居する時は、必ず区に加入を定例化するべきである。いろんな講演会を行っていても、いつも参加者は同じ人ばかり。行政も全員参加の気持ちをもってもらいたい。

60歳代<36件>続き

タウンバスの経路や頻度を充実させ、芦屋は不便という印象を払拭してほしい。芦屋は便利な町と言われるぐらいに。海や川などの自然の美しさに加え、町自体も美しいといわれるように美化を強化してほしい。芦屋の町を見に人が集まるくらいに。芦屋町には家族が一緒に食事に行きたいと思わせるところがない。やまつばさや天拝の郷のような場所がほしい。温泉があって美味しい食事ができれば人が集まる。

国道 495 号線に都市ガス管の埋設工事と書いてあったので、いよいよ芦屋もプロパンガスから都市 ガスに移行するかと喜んでいたら、どうもそうではないと知りました。我が家はプロパンガスの管 が設置してあり、台風でも来ようものなら二つの管がぶつかりあってゴンゴンと音がする。安全に 対して配慮してあるのでしょうが、早く都市ガスにしてほしい。料金も安くなるので。

経費の面もあるのでしょうが、町の職員さんが窓口に来た人にゆっくりと対応できるように職員の確保をお願いします。岡垣のサンリーアイのように町外からも行きたいと思うような施設をつくられたらどうでしょうか。車を運転できなくなった高齢者が安く利用できる芦屋町独自の会員制のタクシーなどがあるといいなと思います。ケア付き住宅などがあると先が安心かなと思います。

江川台から大君に下る坂道にある大木のため、花火大会時、また、日々の散歩時の景観が損なわれている。また、台風や強風での崩壊が心配。剪定から伐採をお願いしたい。北九州市との合併により行政の効率化をしてもらいたい。

役場にはあまりいい感じをもっていない。人権問題と言っていますが、個人の悩み事などすべて他人に漏れています。信用できません。心から助けてほしい、どうしたら良い?こんな話は役場の人には言えません。

夕陽のきれいな町といいながら、プールはそれを見る前の時間に終わるし、駐車場も入れなくなる し、バスは病院のところまでだし、変な町だなぁと思います。

就業場所が少ない。公共関係で働けない(こねが優先)。

まちづくりに直接影響があるかどうかはわかりませんが、芦小、芦中の生徒さんが朝、夕に立ち止まって挨拶する姿に感銘いたします。どうか、その気持ちをもって成長してほしいと願っています。

町立病院に良いお医者さんをお願いします。信頼できる心ある方をよろしくお願いします。

城山公園。昔のようなきれいな桜やつつじが咲く、そして四季折々の花が楽しめる公園になったらいいな。

町民会館は暗くて不便なので、ボート場の劇場を利用してコンサートや催物をしたほうがいい。駐車場も広いし、施設もきれい。総合体育館の改修工事に関して、早めに期間等を町民に知らせたほうがいい。現在利用している人が困るし、代替施設の準備もあるから。大雨が降ると道路が浸水して車が通れなくなる山鹿地区に対して、対応策を示してほしい。

まちづくりを行う際、住民の意見を集めるのにホームページ書き込みとありますが、高齢の人には 無理だと思う。まずは、区長に意見を出したほうが良いのではないでしょうか。

町民税が高い割に福祉が充実していない。例えば、北九州市は高齢になったら割り引きになるとか聞きました。

中央病院の充実を。待ち時間の短縮。医療機器の充実。

独居老人(特に女性)が雨の中や寒い中、押し車を押して買い物に出かけているのを良く目にするが、もっと近くで買い物とかできるようにならないのかなといつも思う。我々もいつか車の運転ができなくなったら、もっと便利な町へ引っ越しとか考えると思います。

不必要な物をつくらない。町のお金を大事にすること。

環境整備にこだわりすぎている。町自体が年々さびれているのに。もっと町を活性化させる方法を考えるべき。日常の買い物さえも町以外に出て行っている。もっと町に人を呼び込む方法を考えるべきだと思う。中途半端な事業をせずにもっと大胆にするべきだと思う。例えば、アクアシアンの近くにキッズパークがありますが、もっと町以外からも子どもたちが集まるような施設にすべきでは。とにかくすべてにおいて、中途半端だと思う。お金の無駄遣いです。

60歳代<36件>続き

町の活性化に向けて、様々なイベント、行事を実施し、地域の活動も推進して充実させようと努力されていることは十分理解しています。しかしながら、ほとんどが高齢者の地域では、あまりに活動が多すぎて、一人でいくつもの活動に参加しなければならない状況になっています。かえって地域から離れたい気持ちになるのではないでしょうか。職員の方が実際に地域の活動を見学、体験して声を聞き、参考にしていただけたらと思います。

道路の美化と町内のイメージアップには協力していくつもりです。現在、農業関係で JA のグリーンセンター等で花、野菜、果樹の栽培技術等、お手伝いしています。街路樹の落葉による堆肥づくりもできればと思っています。

交通の便が良いと車をもたない人たちにとっては暮らしやすい。空の騒音が改善されると安心して暮らせる。畑仕事や海を眺めながら暮らせる環境づくりがやれたらと希望します。商業や農業、漁業の活発化を促すまちづくりを望みます。

町にポイ捨てが多い(ごみが散らかっている)。

山鹿地区の水害対策及び災害にあった家等の保障をすること。また、水害にあわないための排水設備を充実すること。

財政の充実。スリム化。花火大会など、その場限りのイベントの中止。自己満足にすぎない。

町内が年々観光地においてふさわしく花で彩られ、春になると私たちの心を和ませてくれます。そして、昔に比べ若い方の活躍が目立ち、明るい雰囲気を感じ取ることができます。感じることは、時々私服になり公務員としての清楚さが主流であってほしいと願います。Tシャツなど上半身は統一する等、私は制服のほうが緊張感があって好きでした。

遠賀町のような銭湯があれば良い。

10年~20年後には空き家が増えていると思いますが、どのようにすべきか??

70 歳以上 < 41 件 >

通勤通学にバスの回数を考えてほしい(黒崎折尾行き回数を考えてほしい)自家用車がないと芦屋町に住めない。はまゆうスーパー出入りに危険(要注)車の出入。老人は買い物難民。

江川台の雇用促進住宅の有効利用、①他町の災害による被災者の住居として活用できないか。仮設住宅ができるまで等(国の予算にて負担)定住できれば人口増にもつながるかも。②各種スポーツの合宿所としての活用等できないか?とにかく芦屋町のイメージの上がる事業を行ってほしい!!思いついたまま…。

町長への手紙(意見)というのがありましたが、本当に町長まで届いているのか、疑問に思っています。地域の道路や階段のちょっと危ない所等、小さなことでも、もう少し親身に耳を傾けて、対応してほしいですね。議員さんがまとまりがないようですね!!議席数がちょっと多いように思えます。互いに足の引っ張り合いをしているようです。

◎遠賀郡内で芦屋だけ温水プールがない(スイミングも含む)高齢者が多くなりリハビリを兼ねた温水プールが必要だと思う。◎町外の(県外)お友達などに芦屋のお土産を思うとき、これといってない、芦屋の土産菓子を考えてほしい。◎中央病院で(終わってから)受付に出してから薬をもらうまで30分かかる。会計するまでの時間が長い。

海水浴場の駐車場が、学校夏休み期間だけ有料なのは理解に苦しむ

町道の街路樹の手入れ。大木となるような木は植えないほうが良いと思います。花火大会を見る場合は、芦屋橋の上でゆっくり見られるようになれば良いと思います。芦屋中央病院行きの交通はどうなりますか。

ひとり暮らしの人たちが家から出て楽しむことができるようなことも考えてほしい(食事会を催すとか)。趣味をする場をもって一日楽しめる場所など考えてほしい。

70歳以上<41件>続き

町議員は住民の声の代わりになっているのか。アンケートは3回目。もっと幅広く違った人に依頼 されたらと思います。

何事にも住民ファーストを考えていただければ幸せです。

乳幼児などの医療補助などをしっかりしてほしい。役場の対応がとても良くなった。昭和 55 年頃に引っ越してきたのですが、態度が悪くてびっくりしました。

私は80歳を過ぎた者ですが、数年前に病気で倒れ月に3回ほど町立病院に通っています。朝は高齢者支援バスを利用していますが、帰りは午前の最終便に間に合わず、午後の運行時間まで2時間近く待機しなければなりません。何とか工夫をして運行できるようにしてほしいです。私を含め、多数の人の意見です。家族の忠告もあって免許証を返納しました。タクシーを利用すればとの意見があるかもしれませんが、片道1,000円ほどの運賃は負担です。ぜひ、関係課に上申してください。

住みやすい町です。ありがとうございます。

85 歳で一人暮らし、年金生活です。アンケートの文章は難しく、あまり役に立たないと思います。 手術の後遺症で手足にしびれがあり足が上がらないため、公共バスの乗降口に乗れません。タクシー を利用していますが、年金生活には苦しいです。

足が悪くて出かけるのが億劫です。もっと積極的にならないといけないと思っています。

高齢者が多くなってきているので、高齢者が住みやすく、楽しめる、また参加しやすい行事を。健康でいつまでも芦屋町に住みたくなるよう、高齢者にも話を聞いて計画を立ててほしい。

空き家対策。

病院の建設より、町民会館や中央公民館など、どこも駐車場が不足しているので考えてみるべきだと思う。特に町民会館の老朽化が進んでいる。町営住宅跡地に考えてもいいのではと思う。音楽祭、文化祭など他地域より来場するのに施設の充実がなされるべきだと考える。あちこちと疎らに建設するのではなく、まとまった場所での使い方を考慮すべきと常々思っている。先々を考えて、しっかり土地活用計画を立ててほしい。

町内の狭い範囲での活動だけでなく、もっと視野を広げるため近隣の市町との交流(イベントの共有、行政間)を図り、貝の中に閉じこもることなく周辺の新しいものに目を向ける。また、芦屋町の歴史的にも良い場所等を利用した映画やTVのロケの誘致や物と人の交流が図れる企業の誘致が必要かと思います。

町内の計画で病院、学校、グラウンドなどをつくる際は、各区の住民の意見を聞く。

町民全員が一生住みたいと思えるようなまちづくりをしてください。

人と人がもう少し顔を見たらあいさつすると身近になり、人間が豊かになる。

高齢者は配偶者との死別で一人暮らしになる。人生の後半をどう生きるか、大切なのは長く生きるよりどのように生きるかだと思う。いろいろ選択肢があると思うが、そのことに喜びを見い出せるかが大切である。元気と活力にあふれた一日であるか。私は囲碁、将棋、ウォーキングで汗を流している。

大水害予防対策の一つに西川の舟を撤去してほしい。自衛隊の騒音をなくしてほしい。

道路を整備する。

色々な行事に携わった取り組みに感動いたしております。これからも益々の発展を期待しています。

町の活性化にむかって住民の声を聞いてほしい。住民相談の窓口を増やしてほしい。

町に活力が戻るよう、あらゆる方法を使って努力が必要。若者が住み続けられるようなまちづくり。 過度な補助はやめる。生活保護の徹底見直しなど。

地区の自治会に入っている家庭が少ない。自治会を脱退する人がいるのは、町の責任で何とかして ほしい。脱退する人は、区費を払わない、クリーンキャンペーンにも出てこない、町民体育祭など に協力しない。地区の行事が成り立たない。

70歳以上<41件>続き

私は芦屋町で看護職をしています。患者さんが自家用車で来られていましたが、高齢で返納をしバスで来られるようになりました。でも、足腰が悪く介助なくしては歩けなくなり、介護タクシーを利用するようになりましたが、呼んでも30分以上待つことが多いということ。これから高齢者が増えると病院へ来るのも大変。付き添いの家族も遠方、仕事で来られない。福祉、介護はまだまだ不十分だと感じます。漁業、農業、もっとよくしてほしいと思うことはたくさんあると思います。天候や自然に左右される職業、トラックや機械類、コスト面でも高齢化でも大変な側面も多いでしょう。食べ物が芦屋町で獲れるのは芦屋町の財産でもあると思います。しっかりサポートを充実させていただきたい。

観光地の整備をお願いします。特に魚見山展望台からの景観は最高であり、ぜひ、建物の補修と枝のカット、マリンテラスより展望台までの通路を整備し、観光客増したりイベントで芦屋の良さをPRしたり、ウォーキングコースにしてほしい。観光コースを充実して自然のよさと体力づくりを兼ね、楽しい元気な町になればと思っています。

住民、行政が、連携してまちづくりに頑張っているので、感謝しています。

山鹿地区にタウンバスを増やしてほしい。

江戸川区緑道をすべてアスファルトにやり直すそうですが、やる前に住民に説明して意見を聞くようにして工事に入るようにしてください。説明を聞いていません。

飛砂対策を強力に推進する。旧町営住宅の早期撤去を進め美化に努める。港湾整備の具現化を望む。 観光資源の開発。なみかけ大橋及び取付道路が雑草、ごみで汚い(清掃及び美化を計る)。自衛官 定年退職者の町内定住化を図る。国民宿舎(マリンテラス)の充実(料理、サービス等)。農業、 漁業の活性化を図る。観光ガイド員を養成する。

芦屋もなかを町のスーパーや町民が買いやすい場所に出したほうが良い。今の場所は駐車スペースもなく車で行っても停められない。特産品やグルメのPRには、まず買っていただいて食べていただかないと何の意味もない。道の駅までとは言わなくても産直売場等をつくるのも良いと思う。全国で道の駅がないのは芦屋町ぐらいで残念。もう少し町の直接収入を考えて行動に移すべき。

もう少し文化財を見学する機会をつくってほしい

高齢ですので、今後アンケートは送付しないでください。

とりあえず何でも区長会に報告していればすむと思っているのではないだろうか。

町職員の対応を親切に理解できるようにお願いしたい。

町のイベントをもっと広報を利用して町民に知らせるべき。

独居老人が自由に外出できるよう、すぐ近くにバス停がほしい。こまめにバスが停まるようにお願いしたい。足が悪いので不便。高齢者だが運転をやめられない。外出が大好きなので一番の希望です。

芦屋町には若者が少なく、高齢者が多くなりつつあると感じます。若者がわざわざ来る町にしてほしいです。サーフィンやスケートボードの練習場やサーキットなど。また、主婦層をターゲットに考えてみれば「伊都菜彩」や「道の駅むなかた」のような、目玉となる施設を設けるといいのではないかと感じます。芦屋町は漁業と農業が昔から盛んですので、うまく集客につなげたらと思っています。自分たちがわざわざ他県に行ったり、町外に観光や買い物に行く理由を考えると、何かに魅力があるからだと思うからです。芦屋には何かが足りないと思います。もっと危機感をもつべきだと思います。

年齢無回答<9件>

体育館のシャワーが無料になっているので、使用料をとったほうが良いと思います。また、プール は夏だけ利用できるのではなく、一年中利用できるプール(室内)など設置すれば、たくさんの方 が利用されると思います。

僕は障がい者なので生活保護で生活しています。ありがたいです。

年齢無回答<9件>続き

芦屋町にカーブスをつくってほしい。家に閉じこもっている人が運動できるような施設をつくってほしい。特定健診の項目に心電図や貧血の検査もみんなに入れてほしい。

由緒ある歴史のもとに、美しい自然に包まれたのどかで静かな生活環境を失わないまちづくりを希望します。

アンケート調査の意見をもっと積極的に取り入れてほしい。

歩道でごみ収集をするのはやめてほしい。汚いし、ごみが散乱している。誰の迷惑にもならない空き地や公園とかにしてほしい。いつもゴミが飛んでくる。カラスがくる。どうにかしてほしい。

人口減の原因を究明し、早急に対策を取る。

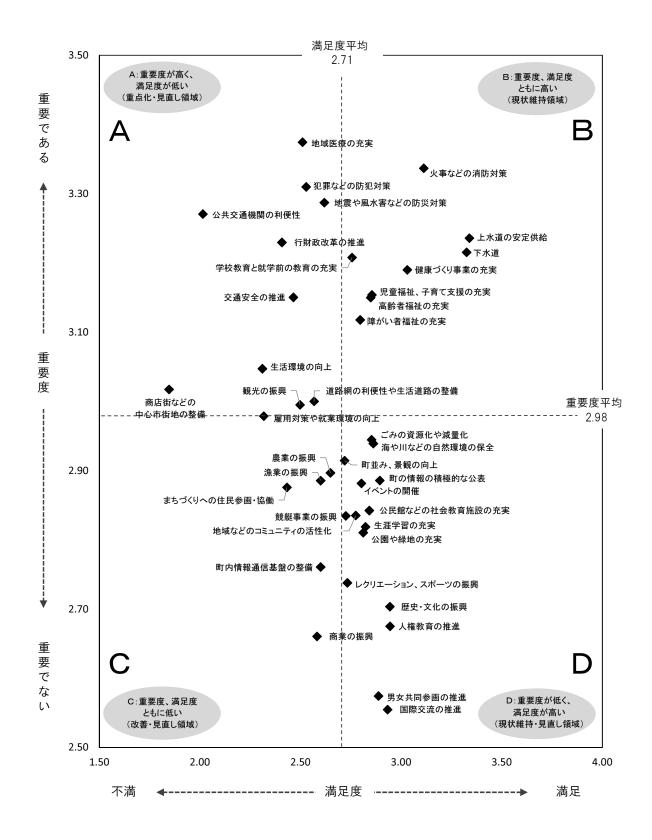
商業施設の充実。町の中にコンビニがない。情報の発信。

もし今後も定期的にアンケート調査を実施されるなら、今回のように「芦屋町全体のこと」でも良いのですが、「公共交通機関について」とか「商業の振興について」など、テーマをピックアップしても良いのかなと思いました。ただ、集計が大変かもしれませんね。職員の方が私たちに意見を求めてくださっている機会なので、有効に活用できたら良いなと思います。

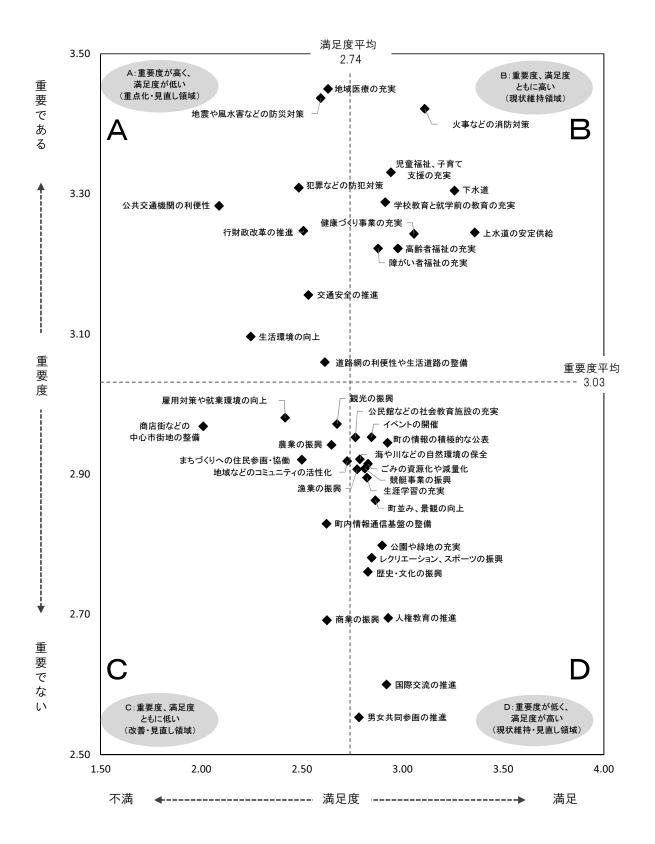
6. 資料編

1. 満足度と重要度の相関図による分析(クロス集計:小学校区別・性別・年齢別)

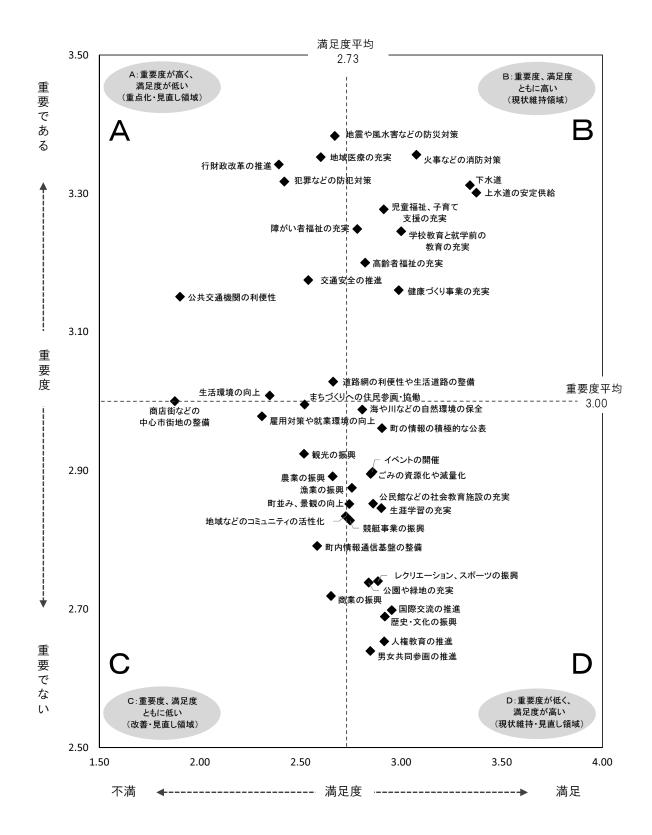
◆芦屋小学校区◆



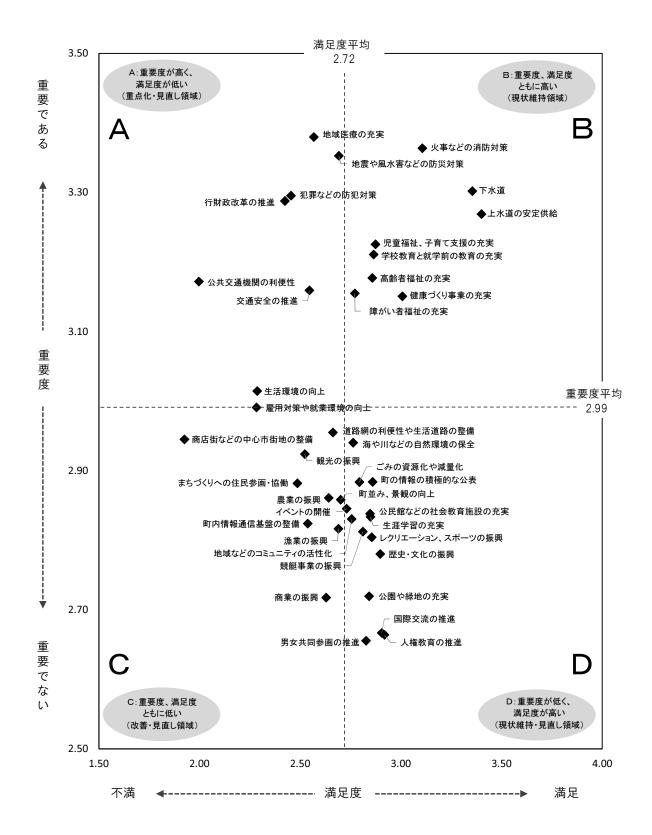
◆芦屋東小学校区◆



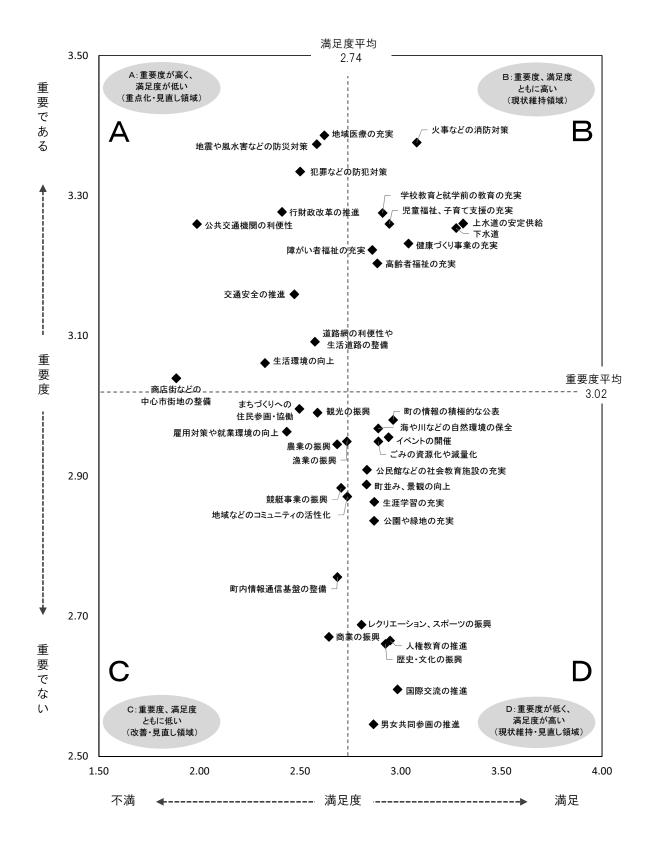
◆山鹿小学校区◆



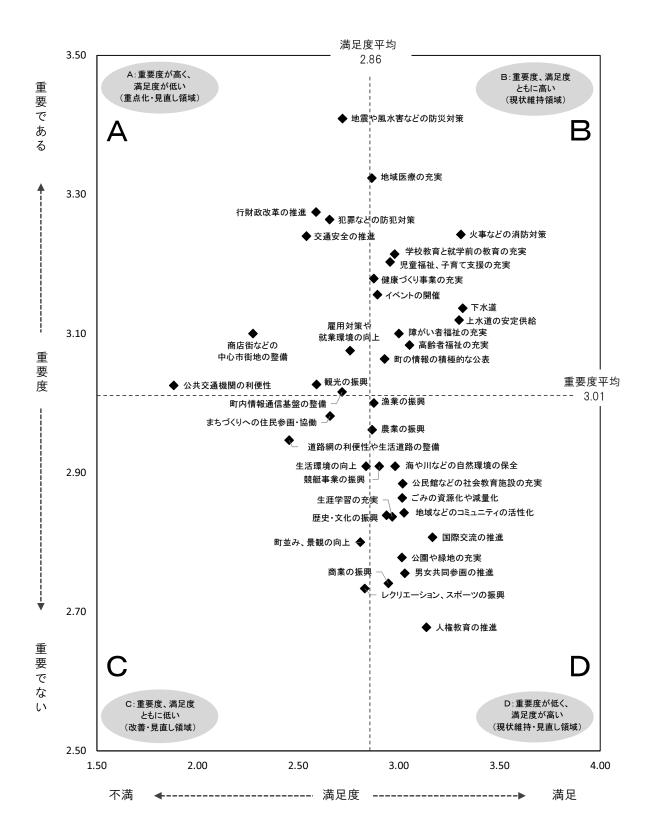
◆男性◆



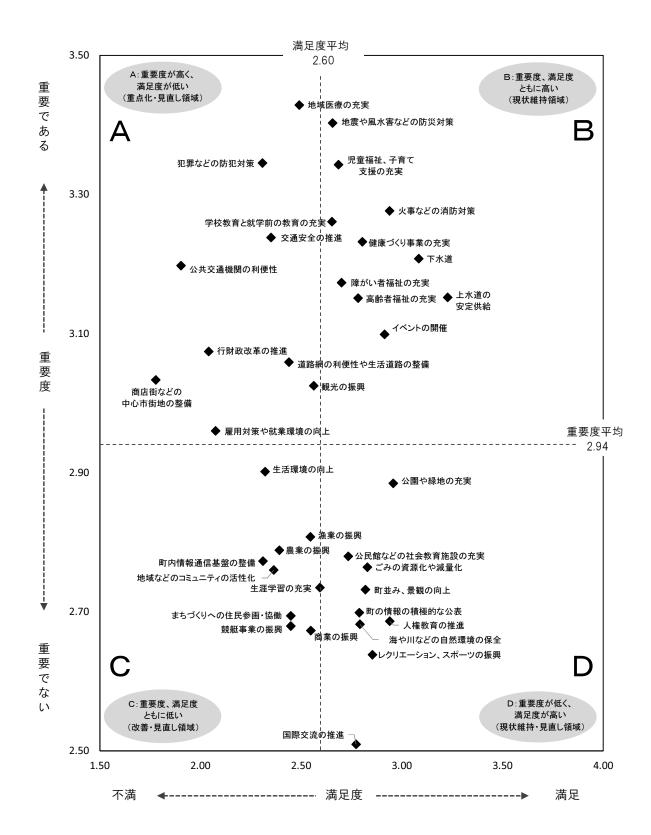
◆女性◆



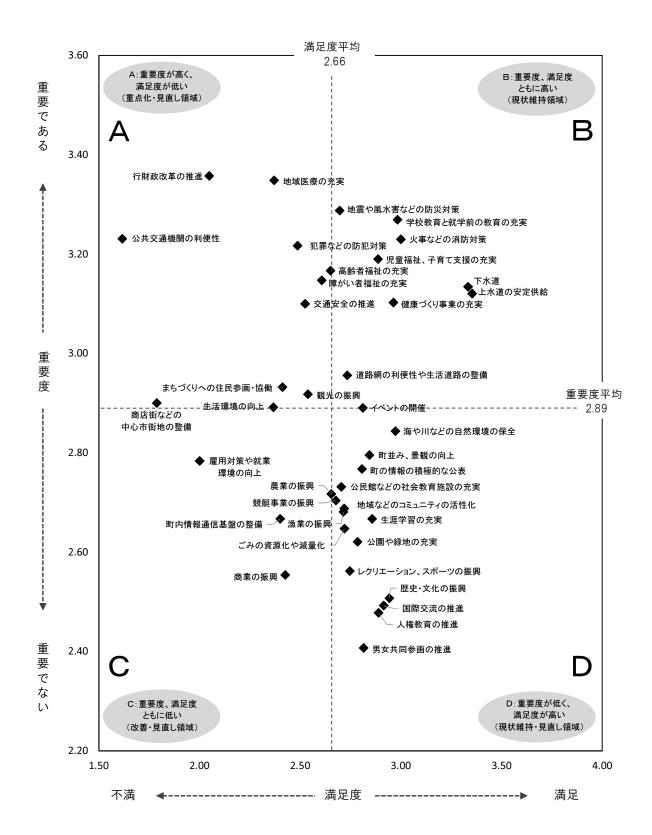
◆20 歳代◆



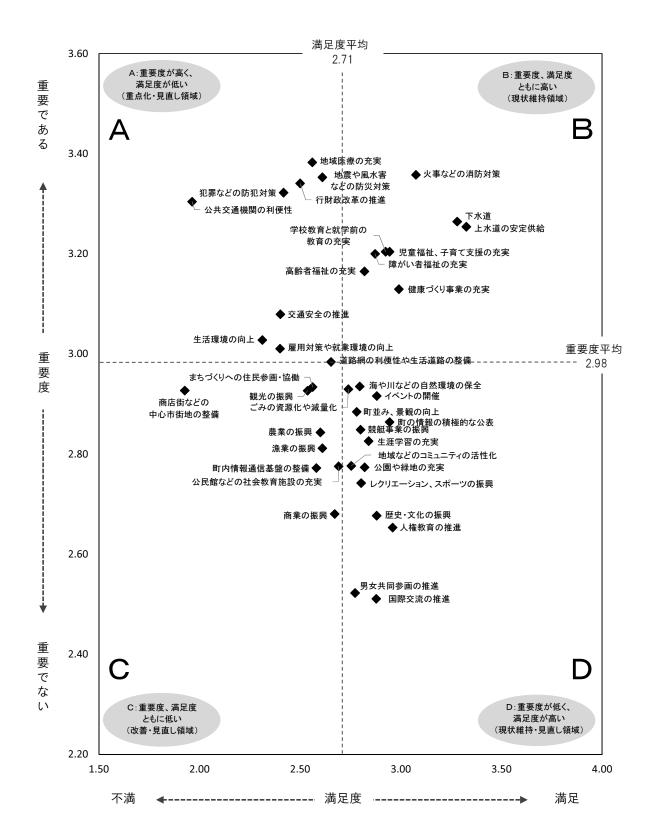
◆30 歳代◆



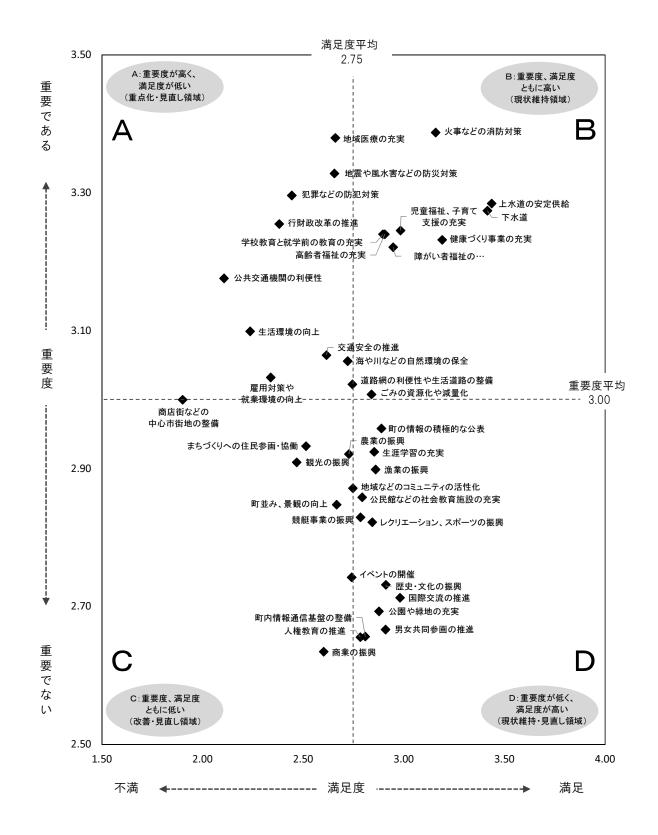
◆40 歳代◆



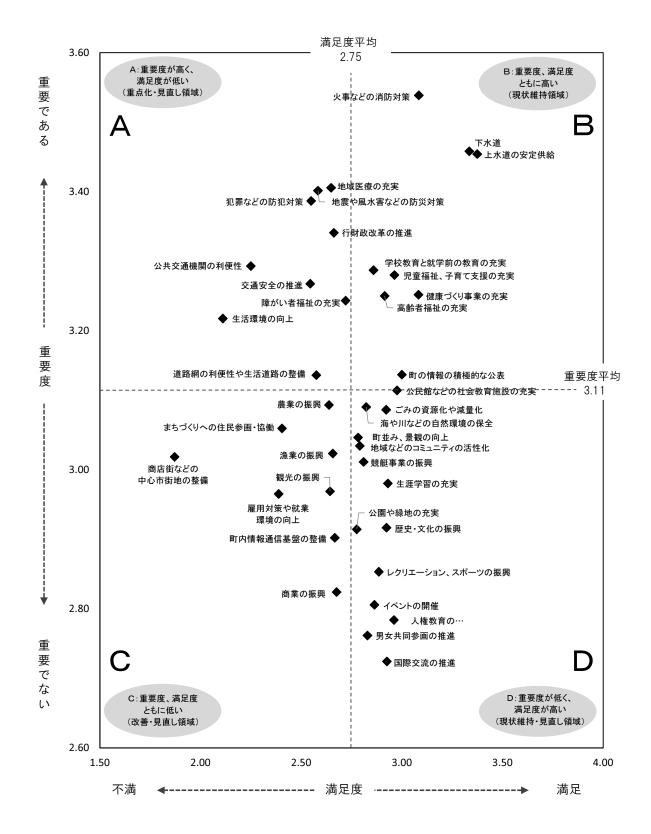
◆50 歳代◆



◆60 歳代◆



◆70 歳代◆



コミュニティ活動状況調査 (住民意識調査)

調査ご協力のお願い

みなさまには、日ごろから町政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。 さて、今回送付させていただきました「コミュニティ活動状況調査」は、これまでの町 の取り組みに対する住民の皆様の評価や、今後のまちづくりに対する意向などを把握する ために実施するものです。また、平成 26 年度に実施した同様の調査結果との比較・分析 を行うことで、町の取り組みなどに関する課題を抽出し、今後の取り組みに活かそうとす るものです。

今回の調査は、本町在住の 20 歳以上の方の中から 2,000 名の皆様に本調査票をお送りさせていただきました。調査票に記入された内容につきましては、統計的な処理をしたうえで活用させていただくものであり、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しい中誠に恐縮ではございますが、本調査の目的、趣旨をご理解いただき、ご協力 くださいますようお願い申し上げます。

平成30年1月 芦屋町長 波多野茂丸

ご記入にあたってのお願い

- あて名のご本人がお答えください。
- ・調査票や同封の返信用封筒に氏名や住所を記入する必要はございません。
- この調査によって、個人が特定されることは一切ございませんので、思いのままにお答えください。
- ・回答の方法は、設問によって「1つに〇」、「あてはまるものすべてに〇」など 指定されていますので、その指示に従ってください。
- ・ご記入いただいた調査票は、<u>2月9日(金)</u>までに、三つ折りにして同封の返信用封筒に入れて投函してください。(切手と記名は必要ございません)

【調査に関するお問い合わせ先】

芦屋町役場 企画政策課 企画係

電話:(093) 223-3570 (直通) FAX:(093) 223-3927

あなたご自身のことについて

問1 お住まいの小学校区

1. 芦屋小学校区

2. 芦屋東小学校区 3. 山鹿小学校区

問2 性別

1. 男 2. 女

問3 年齢

1. 20 歳代

3.40歳代

5.60歳代

2. 30 歳代

4.50歳代

6.70 歳以上

問4 職業(主なもの1つに〇)

1. 農林漁業

7. 金融•保険•不動産業

2. 製造業、工業

8. 公務員

3. 建設業

9. 主婦・主夫(専業)

4. 商業(小売、卸売、飲食)

10. パート・アルバイト

5. サービス業(公務員を除く)

11. 学生 • 無職

6. 運輸通信業

12. その他(

問5 家族構成(※ご一緒にお住まいのご家族についてお答えください)

1. 単身者(1人住まい)

4. 三世代家族(夫婦・子ども・孫など)

)

)

2. 夫婦のみ

5. その他(

3. 二世代家族(夫婦と子どもなど)

問6 芦屋町での通算居住年数

1. 1年未満

4. 10 年以上 20 年未満

2. 1年以上5年未満

5. 20 年以上 30 年未満

3. 5年以上 10 年未満

6.30年以上

町の暮らしやすさについて

問7 芦屋町は住みよいと感じていますか。(1つに〇)

- 1. 住みよい
- 2. まあまあ住みよい

.....

- 3. あまり住みよくない
- 4. 住みにくい

(問7で「1」「2」を選んだ人におたずねします。)

問7-1 どのような点で住みよいと 感じていますか。(主なもの3つにO)

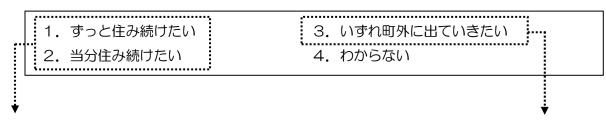
- 1. 住宅価格、家賃が適当、安い
- 2. 買い物など日常生活が便利
- 3. 交通の便がよい
- 4. 職場、学校が近い
- 5. のどかさがあって、静かな居住環境
- 6. 自然が豊か
- 7. 魅力的なイベント、行事がある
- 8. 治安がよい
- 9. 近所づきあいがよい
- 10. 町のイメージがよい
- 11. 子育て支援が充実している
- 12. 高齢者、障がい者福祉が充実している
- 13. 医療環境が充実している
- 14. 学校の教育内容、環境がよい
- 15. 定住に関する補助が充実している
- 16. 都市基盤が整備されている
- 17. 親戚、知り合い、友人が近くにいる
- 18. 親、子どもが近くにいる
- 19. その他

(問7で「3」「4」を選んだ人におたずねします。)

問7-2 どのような点で住みにくいと 感じていますか。(主なもの3つにO)

- 1. 住宅価格、家賃が適当でない、高い
- 2. 買い物など日常生活が不便
- 3. 交通の便がよくない
- 4. 職場、学校が遠い
- 5. 居住環境が騒がしい
- 6. 自然が少ない
- 7. 魅力的なイベント、行事がない
- 8. 治安がよくない
- 9. 近所づきあいがよくない
- 10. 町のイメージがよくない
- 11. 子育て支援が充実していない
- 12. 高齢者、障がい者福祉が充実していない
- 13. 医療環境が充実していない
- 14. 学校の教育内容、環境がよくない
- 15. 定住に関する補助が充実していない
- 16. 都市基盤が整備されていない
- 17. 親戚、知り合い、友人が近くにいない
- 18. 親、子どもが近くにいない
- 19. その他

問8 今後も芦屋町に住み続けたいですか。(1つに〇)



(問8で「1」「2」を選んだ人におたずねします。)

問8-1 どのような点で今後も住み続けたいと 思いますか。(主なもの3つにO)

- 1. 住宅価格、家賃が適当、安い
- 2. 買い物など日常生活が便利
- 3. 交通の便がよい
- 4. 職場、学校が近い
- 5. のどかさがあって、静かな居住環境
- 6. 自然が豊か
- 7. 魅力的なイベント、行事がある
- 8. 治安がよい
- 9. 近所づきあいがよい
- 10. 町のイメージがよい
- 11. 子育て支援が充実している
- 12. 高齢者、障がい者福祉が充実している
- 13. 医療環境が充実している
- 14. 学校の教育内容、環境がよい
- 15. 定住に関する補助が充実している
- 16. 都市基盤が整備されている
- 17. 親戚、知り合い、友人が近くにいる
- 18. 親、子どもが近くにいる
- 19. その他

(問8で「3」を選んだ人におたずねします。)

問8-2 どのような点でいずれ町外に出ていき たいと思いますか。(主なもの3つにO)

- 1. 住宅価格、家賃が適当でない、高い
- 2. 買い物など日常生活が不便
- 3. 交通の便がよくない
- 4. 職場、学校が遠い
- 5. 居住環境が騒がしい
- 6. 自然が少ない
- 7. 魅力的なイベント、行事がない
- 8. 治安がよくない
- 9. 近所づきあいがよくない
- 10. 町のイメージがよくない
- 11. 子育て支援が充実していない
- 12. 高齢者、障がい者福祉が充実していない
- 13. 医療環境が充実していない
- 14. 学校の教育内容、環境がよくない
- 15. 定住に関する補助が充実していない
- 16. 都市基盤が整備されていない
- 17. 親戚、知り合い、友人が近くにいない
- 18. 親、子どもが近くにいない
- 19. その他

町の取り組みに対する満足度・重要度について

問9 芦屋町のこれまでの取り組みについて、あなたはどのくらい満足し、また、重要とお考えですか。(各項目について、「満足度」、「重要度」からそれぞれ1つずつにO)

			満	足	度		重要度				
	あなたの考え 項 目 代表的な事業など	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	極めて重要	重要	でない重要	重要でない	わからない
1	公共交通機関の利便性 ・町内を運行する北九州市営バス、芦屋タウンバスの路線や運行本数、巡回バスの運行など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2	道路網の利便性や生活道路の整備 ・幹線道路、身近な生活道路の利便性、整備の状態 など	1	2	9	4	5	1	2	3	4	5
3	交通安全の推進 ・交通安全運動の実施、カーブミラーや道路照明などの交通安全施設の設置状況など	1	2	თ	4	15	1	2	3	4	5
4	上水道の安定供給・北九州市による水道の安全・安定供給など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5	下水道 ・下水道施設の整備状況など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6	地震や風水害などの防災対策 ・自主防災組織への支援、防災地図や防災訓練の実施、防災無線の整備や避難所の設置状況など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7	火事などの消防対策 ・迅速な消火活動、消防団活動の支援など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8	犯罪などの防犯対策 ・自治防犯組合などの町内巡回活動の支援、見回り の強化、防犯街灯や防犯カメラの設置など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9	町並み、景観の向上 ・花壇の整備、街路樹の剪定、誘導看板や総合案内 板などの整備状況など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問9のつづき

			満	足	度		重要度				
	あなたの考え <u>項 目</u> 代表的な事業など	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	極めて重要	重要	でない重要	重要でない	わからない
10	公園や緑地の充実 ・中央公園、海浜公園、夏井ヶ浜はまゆう公園などの 維持や整備など	1	2	Ø	4	5	1	2	3	4	5
11	ごみの資源化や減量化 ・自治区などによる資源物の集団回収奨励制度、生ごみ処理容器やダンボールコンポストなどの助成制度など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12	海や川などの自然環境の保全 ・ラブアース活動(海岸線や河川の一斉清掃)など	1	2	3	4	5	1	2	ß	4	5
13	生活環境の向上 ・不法投棄防止パトロール、放置自転車対策、不法係 留船対策など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14	農業の振興 ・新規就農者への就農支援、用水路やため池などの 維持や整備など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15	漁業の振興 ・漁港や漁業施設の維持や整備など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16	商業の振興 ・にこにこ商品券・高額商品券発行の補助、商工業者 への運営や設備資金の借入支援など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
17	商店街などの中心市街地の整備 ・商業者への支援や企業誘致、空店舗活用の補助制 度など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18	観光の振興 ・国民宿舎・レジャープールアクアシアン・芦屋海水浴場の運営、観光情報の発信など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
19	イベントの開催 ・あしや砂像展の実施、花火大会や祭りあしやなどの 開催支援など	1	2	Э	4	5	1	2	3	4	5
20	地域医療の充実 ・芦屋中央病院の医療機器の充実や町内の医院との 連携など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問9のつづき

			満	足	度			重	要	度	
	あなたの考え 項 目 代表的な事業など	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	極めて重要	重要	でない重要	重要でない	わからない
21	健康づくり事業の充実 ・特定健診・がん検診の実施、健康・運動教室の実施など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
22	高齢者福祉の充実 ・介護予防事業、地域交流サロン事業や配食サービスなどの在宅福祉サービスの実施など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
23	障がい者福祉の充実 ・障がい児デイサービス「芦屋すてっぷくらぶ」の運営、公共施設のバリアフリー化、福祉タクシーチケット給付など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
24	児童福祉、子育て支援の充実 ・子ども医療費の拡充、学童クラブの運営、子育て支援センターの運営や育児教室の実施など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
25	学校教育と就学前の教育の充実 ・小学校 4 年生までの 35 人学級の実施や中学校 3 年生への放課後特別授業の実施など・保育所・幼稚園・小学校・中学校の連携など・特別支援教育の推進など	1	2	З	4	55	1	2	3	4	5
26	生涯学習の充実 ・各公民館講座、祖父母学級、同好会活動などの推進、文化協会への活動支援など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
27	公民館などの社会教育施設の充実 ・中央公民館、東公民館、山鹿公民館、図書館、町民会館などの運営など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
28	人権教育の推進 ・人権まつり、人権講演会の実施、人権カレンダーの 発行や人権啓発の実施など	1	2	З	4	5	1	2	3	4	5
29	地域などのコミュニティの活性化 ・自治区活動への支援、自治区担当職員制度(職員が地域活動に参加し、町民による自主的な地域づくりのサポートを行う活動)の推進など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問9のつづき

			満足度					重 要 度				
	あなたの考え 項 目 代表的な事業など	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	極めて重要	重要	でない重要	重要でない	わからない	
30	レクリエーション、スポーツの振興 ・総合体育館・武道館などの管理運営、ヨガなど健康 づくり講座の開催、スポーツ大会や体育協会への支 援など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
31	歴史・文化の振興 ・芦屋釜復興への取り組み、芦屋釜の里の運営やさく らコンサートなどの事業、歴史の里の運営や企画展 の実施、ギャラリーあしやの運営など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
32	国際交流の推進 ・国際交流協会への支援、中学生のホームステイ事業 など	1	2	თ	4	5	1	2	3	4	5	
33	男女共同参画の推進 ・男女平等や相互理解についての講演会や啓発など の実施など	1	2	ო	4	5	1	2	თ	4	5	
34	雇用対策や就業環境の向上 ・企業誘致を促進する条例、創業等促進支援事業補 助金制度など	1	2	Ø	4	5	1	2	w	4	5	
35	町内情報通信基盤の整備 ・芦屋釜の里、レジャープールアクアシアンへの無料 公衆無線LANの整備、インターネットを利用した情報 提供など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
36	町の情報の積極的な公表 ・広報あしやの発行、出前町長室、出前講座、町のホームページ運営など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
37	まちづくりへの住民参画・協働 ・住民と行政との情報の共有、パブリックコメントの実施、計画などへの住民の意見の反映など	1	2	თ	4	5	1	2	ß	4	5	
38	競艇事業の振興 ・売上向上に向けた取り組み(グレードレース誘致、モーニングレース実施、発売場数の増)、施設の整備改善(グループ席、VIPルームの設置)、多目的利用(イベント時の施設開放)など	1	2	Ø	4	5	1	2	ത	4	5	
39	行財政改革の推進 ・自主財源の確保、効率的な行政運営の推進など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	

その他、まちの重点的な取り組みなどについて

◆地域について

問10 ふだん近所の方とどの程度の付き合いをされていますか。(1つに〇)

- 1. 近所の方とは、用事を頼めるほどかなり親しい
- 2. 近所の方と会えば、世間話をする仲である
- 3. 近所の方と会えば、あいさつを交わす程度である
- 4. 近所の方の顔は知っているが、話はしない
- 5. 近所付き合いはない

問11 自治区に加入していますか。(1つに〇)

- 1. 加入している
- 2. 加入していない

問 12 自治区の活動に今後どのような活動が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてにO)

- 1. 防災に関する活動や取り組み(防災訓練や緊急事態が起きたときの対応)
- 2. 防犯に関する活動や取り組み(防犯パトロール、防犯街灯の点検など)
- 3. 交通安全のための活動(交通安全指導、交通安全教室など)
- 4. 子どもを地域で守り育てる取り組み(あいさつ運動、見守り活動など)
- 5. 子どもの健全育成に関する活動(野外活動、高齢者と子どもの交流活動など)
- 6. 環境美化活動(地域一斉清掃、花いっぱい運動、公園の美化活動など)
- 7. ごみの減量・リサイクル推進のための活動(資源物の回収、生ごみ堆肥化 (ダンボールコンポスト)の推進など)
- 8. 健康づくりの活動(健康教室、ウォーキングなど)
- 9. 地域の行事やイベントなどの交流活動(盆踊り、夏祭り、運動会など)
- 10. 高齢者や障がい者への福祉活動(見守り、生活支援など)
- 11. その他 ()
- 12. わからない

◆環境問題への取り組みについて

問 13 日ごろから環境問題について、どのような取り組みをされていますか。 (あてはまるものすべてにO)

1. 資源物集団回収への協力	4. 公共交通機関の利用
2. ごみの分別	5. その他 ()
3. 節電・節水	

◆防災について

問 14 地震や洪水に備えてどのようなことが必要と考えていますか。 (あてはまるものすべてにO)

1. 地域の防災組織の確立	4. 防災に関する学習
2. 日ごろの近所付き合い	5. 防災用品の準備
3. 避難場所の確認	6. その他()

◆観光の活性化について

問 15 町の観光をより推進するために、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(あてはまるものすべてにO)

- 1. 花火大会や砂像展などのイベントの実施・充実
- 2. 洞山や海水浴場をはじめとする観光地の整備
- 3. 観光地(夏井ヶ浜はまゆう公園、海浜公園、レジャープールアクアシアン、芦屋海岸、 洞山など)の活用や清掃などの維持管理・自然環境の保持

)

- 4. 観光情報やイベントなどの周知・PR
- 5. 特産品やグルメの開発
- 6. 観光に携わる人材の育成
- 7. 観光ルートマップなどの作成
- 8. その他(

◆教育について

問 16 町の小中学校の教育についてどう評価しますか。(1つにO)

1. 大変良い

4. 良くない

2. まあまあ良い

5. わからない

3. あまり良くない

問 17 町の小中学生等に対する教育を向上するために、今後どのようなことに力を入れるべきだと 思いますか。(あてはまるものすべてにO)

- 1. 学校において、学力向上のために学習指導の充実を進める
- 2. 学校において、心の教育(道徳や生き方の指導)の充実を進める
- 3. 学校において、体力を高める授業や部活動の推進を図る
- 4. 家庭において、基本的な生活習慣(早寝、早起き、朝ごはん等)の定着を進める
- 5. 家庭において、家庭学習の時間を確保する
- 6. 家庭において、ノーテレビやノーゲームに努め、親子の会話や読書の時間を確保する
- 7. 地域において、住民が学校行事や教育的な催しに積極的に参加する
- 8. 地区の子ども会や、校区育成会などの子どもを育てる活動を進めるため、家庭と学校との連携を深める
- 9. その他(

◆協働のまちづくりについて

問 18 町の計画や取り組みについて関心を持っていますか。(1つにO)

1. 持っている

- 3. どちらかといえば持っていない
- 2. どちらかといえば持っている
- 4. 持っていない

問 19 町は、住民の意見をまちづくりに反映していると思いますか。(1つにO)

1. よく反映している

- 4. まったく反映していない
- 2. まあまあ反映している
- 5. わからない
- 3. あまり反映していない

問 20 ボランティア活動に参加していますか。(10にO)

- 1. 定期的に参加している
- 3. 興味はあるが、参加していない
- 2. ときどき参加している
- 4. 興味がなく、参加していない

問 21 住民の意見をもっと反映するために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。 (<u>主なもの2つに〇</u>)

1. 町と住民の情報の共有を積極的に進める
2. 町の計画づくりに、住民が参画する機会を増やす
3. 町の計画づくりの際に、住民の意見を聞く機会を増やす
4. 町が設置する委員会の委員を住民から公募する。または公募枠を増やす
5. 町が実施した事業の成果を評価する機会に、住民が加われるようにする

6. 住民が事業を提案し、住民が事業を行えるような制度をつくる

7. その他(

問 22 まちづくりを行う際、住民の意見を集めるために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(主なもの2つにO)

いますか。(<u>主なもの2つにO</u>)	
1. アンケート調査(意識調査)を定期的に行う	
2. 広報を通じた意見募集を定期的に行う	
3. 町のホームページに書き込みコーナーを設置する	

)

- 4. 町内各所に意見箱を設置する
- 5. 住民相談の窓口や機会を増やす
- 6. 町長が住民と対話する機会を充実する
- 7. 町職員が日常的に町に出て住民の声を聞く機会を増やす
- 8. 必要ない
- 9. その他(

	最後に、	芦屋町のまちづくりについて、	ご意見等ご自由にお書きください。
			

芦屋町コミュニティ活動状況調査結果報告書

発 行/平成30年3月

発 行 者/福岡県 芦屋町

編 集/芦屋町 企画政策課

〒807-0198

福岡県遠賀郡芦屋町幸町2番20号

TEL (093) 223-0881 (代)

FAX (093) 223-3927